

祈りの 回廊

2026年3月
～2026年9月
春夏版

秀吉、吉野で花見をする
巡る 拝する 奈良旅の証

[特別講話]

往馬大社 宮司 谷野 浩重 氏
川原寺跡 弘福寺 住職 扇谷 明英 師

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

国づくりの“現場”を歩く
— 飛鳥・藤原 —



国づくりの“現場”を歩く

— 飛鳥・藤原 —



写真提供：世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会HP

今、目の前に広がる静かな景色。ここはかつて、日本の国づくりを担った人々が、日々集い、語り、働いた場所です。遺跡は失われた過去の痕跡ではなく、先人たちの営みが刻まれた「生きた現場」なのです。

国のしくみが動き出す

飛鳥時代は、豪族主導の政治から天皇中心の律令国家へ向かう重要な過渡期でした。当時の日本は、唐や朝鮮半島諸国の先進的な制度をそのまま模倣するのではなく、実情に合わせて独自に作り替えながら導入しました。都や外交など国の根幹に関わる意思決定を受け、役人が文書によって命令を伝達し、実務として実行に移しました。政治的な決断と行政の実務が連動して動く国家の仕組みは、まさにこの時代に形づくられました。



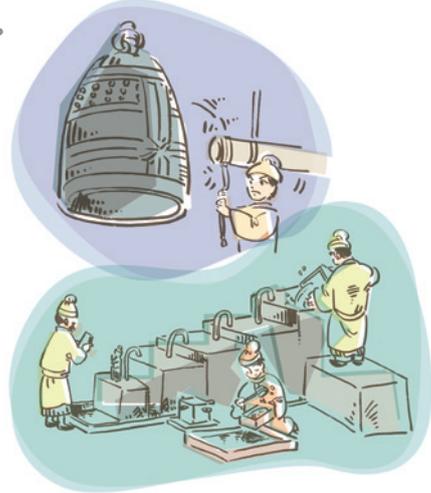
役人たちの「都ライフ」

都に集った役人たちは、天皇や豪族による意思決定を実務として行う存在でした。飛鳥宮跡からは多くの木簡が出土しており、命令の伝達や物資管理、記録作成など、行政の具体的な動きが読み取れます。役人たちは宮殿周辺の役所を仕事場とし、文書を作成し、運び、処理することで政治を現実のものとしていました。勤務は早朝から日中を中心に行われたとみられ、限られた時間の中で業務が進められました。

時間の管理はじまる

役人たちが限られた時間で仕事を

年表	
欽明天皇7年(538年)	仏教伝来：百済の聖明王から欽明天皇に仏像と經典などが献上され、日本に仏教が正式に伝来した※諸説あり、552年説も
用明天皇2年(587年)	丁未の乱：仏教受容をめくり崇仏派の蘇我馬子が排仏派の物部守屋を滅ぼし、蘇我氏の権力が確立した
崇峻天皇元年(588年)	飛鳥寺(法興寺)の造営開始 蘇我馬子が発願した日本最初の本格的寺院の建設が始まる
崇峻天皇5年(592年)	崇峻天皇が蘇我馬子により暗殺される 推古天皇が即位：日本史上初の女性天皇が誕生した
推古天皇元年(593年)	厩戸皇子(聖徳太子)が摂政となり、推古天皇を補佐して政治を行うこととなった
推古天皇4年(596年)	飛鳥寺が完成：日本最初の本格的な仏教寺院が完成し、仏教文化の中心地となった
推古天皇11年(603年)	冠位十二階制定：氏姓に関係なく個人の才能と功績により位階を授ける新しい制度を導入した
推古天皇12年(604年)	十七条憲法制定：官人の心構えを示した道徳的規範で、仏教・儒教の思想を取り入れた
推古天皇15年(607年)	小野妹子を遣隋使として派遣：「日出づる処の天子」の国書を持って隋に派遣された
推古天皇30年(622年)	厩戸皇子(聖徳太子)死去
推古天皇36年(628年)	推古天皇崩御
舒明天皇2年(630年)	第1回遣唐使派遣：犬上御田鍬らを唐に派遣し、新たに成立した唐との国交を開始した 飛鳥岡本宮へ遷宮(飛鳥宮の開始)
舒明天皇13年(641年)	舒明天皇崩御
皇極天皇元年(642年)	蘇我蝦夷が今来(いまぎ)に双墓を造営
大化元年(645年)	乙巳の変：中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我入鹿を飛鳥板蓋宮で暗殺し、蘇我本宗家を滅ぼした 皇極天皇が譲位、孝徳天皇即位 大化の改新始まる：公地公民制や班田收授法など中国的な律令制度の導入を開始した 難波宮への遷都
白雉4年(653年)	中大兄皇子らが難波宮から飛鳥に戻り、孝徳天皇は難波に残された
白雉5年(654年)	孝徳天皇崩御
斉明天皇元年(655年)	斉明天皇即位：皇極天皇が重祚して再び天皇となった(史上初の重祚)
斉明天皇6年(660年)	皇太子である中大兄皇子が漏刻を設置する
斉明天皇7年(661年)	斉明天皇崩御：百済救援のため九州に滞在中、朝倉宮で崩御した
天智天皇2年(663年)	白村江の戦い
天智天皇6年(667年)	近江大津宮に遷都：中大兄皇子(天智天皇)が近江に新都を造営し遷都した
天智天皇7年(668年)	天智天皇即位：中大兄皇子が正式に即位した
天智天皇10年(671年)	天智天皇崩御
天武天皇元年(672年)	壬申の乱：大海人皇子(天武天皇)が大友皇子(弘文天皇)を破り、古代最大の内乱に勝利した
天武天皇2年(673年)	大海人皇子が壬申の乱で勝利し、天皇に即位
天武天皇9年(680年)	薬師寺造営開始：天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を祈願して飛鳥に建立を開始した
朱鳥元年(686年)	天武天皇崩御
持統天皇4年(690年)	持統天皇即位：天武天皇の皇后が正式に即位し、天武天皇の政策を継承した
持統天皇8年(694年)	藤原京に遷都：日本最初の本格的な都城制の都が完成し遷都した
持統天皇11年(697年)	持統天皇が譲位、文武天皇即位
大宝元年(701年)	大宝律令制定：刑部親王と藤原不比等らが編纂した日本最初の本格的な律令が完成した
慶雲4年(707年)	文武天皇崩御 元明天皇即位：文武天皇の母が即位し、平城京遷都の準備を進めた
和銅3年(710年)	平城京遷都：元明天皇が奈良の平城京に遷都



進めるためには、共通の時間認識が欠かせませんでした。『日本書紀』には、斉明天皇六年(660)に設置された漏刻は、皇太子・中大兄皇子が造り、時を知らせたと記されています。水の流れて時を測る漏刻は、役人の勤務や儀礼の進行を支え、国家運営に時間管理が組み込まれていく重要な一歩でした。



計画的に配置され、制度に基づき行政を支える都市構造が遺跡から確認されています。

政の場、仕事の場である宮

飛鳥の宮は、天皇が政を決する場であると同時に、周辺の役所では、役人が日々の実務を処理する仕事場でもありました。遺構の重なりからも政治の変化に応じて空間が更新されてきたことが分かります。やがて藤原宮では、内裏・大極殿・官衙が

時間を管理する場と執政の場



飛鳥水落遺跡
飛鳥水落遺跡は、石組みの構造や導水施設が確認されており、漏刻(水時計)に関連する遺構と考えられています。

📍 高市郡明日香村飛鳥
☎ 0744-54-5600 (明日香村文化財課)
📍 MAP P19 a-2
写真提供：世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会HP



飛鳥宮跡
飛鳥時代の宮殿跡です。政治の中枢として機能しました。遺構が重なって検出されていることから、天皇の代替わりごとに宮殿や執務空間が繰り返し更新されてきたことが分かっています。

📍 高市郡明日香村岡
☎ 0742-27-2054 (奈良県世界遺産室)
📍 MAP P19 a-2

仏教と僧侶 — 国家を護る「祈り」

仏教は、6世紀に大陸から伝来し、飛鳥の地で受け入れられながら広がっていきました。国家の安定や王権の正統性を祈る思想として重視され、飛鳥寺をはじめとする寺院が次々と建立されます。最初の出家者は善信尼ら女性の僧であり、仏教受容の担い手となりました。僧侶たちは祈祷や儀礼を通して国の安定を支え、仏教は律令国家の精神的な柱となっていったのです。



華嚴宗元興寺(塔跡)の道昭坐像(※1)

仏教黎明期

飛鳥時代の僧侶

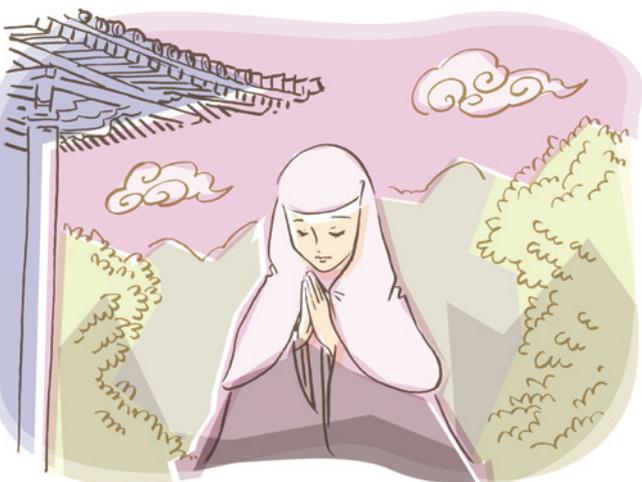
女性の僧尼に続き、飛鳥では大陸出身の僧や渡来系の学僧が、仏教受容の基盤を築きました。高句麗出身の慧慈や百済出身の慧聡は、仏教の教えや儀礼を伝え、宮廷での信仰を支えたとされています。また百済の観勒は、仏教とともに暦法・天文・地理などの知識をもたらし、国家運営に必要な字びの土台を整えました。やがて日本人僧侶も学問として仏教を担うようになります。道昭は白雉4年(653)に入唐し、玄奘三

蔵から法相(唯識)を、慧満から禅の教えを学びました。經典や学問体系を携えて帰国後、飛鳥寺周辺で寺院を営んだと伝えられます。同時期の僧・義淵は、飛鳥から奈良へ続く南都仏教の中心的存在として、弟子の渡唐や後進の育成を通じ、興福寺や薬師寺へと学びを受け継ぎました。

飛鳥は、日本で最初に本格的な仏教寺院が営まれた地であり、飛鳥寺をはじめ、多くの寺院が集積していました。これらの寺は、信仰の場であると同時に、僧侶が学び、教えを伝える拠点として機能していたと考えられます。いまは礎石や遺構のみが残る場所も少なくありませんが、かつての飛鳥では、法会や写経、人材育成といった営みが行われ、仏教文化の基盤が形づくられていきました。

渡来技術者が支えた都づくり

渡来人は、飛鳥に先進的な生産・建設技術をもたらしました。仏像や仏具の鑄造に関わる金属加工、瓦葺き建築や基壇造成に用いられた土木技術、さらに天理砂岩や、二上山凝灰岩、花崗岩などを切り出し、加工し、運搬する石工技術が伝えられています。これらの技術は、宮や寺院、古墳、石造遺構の成立を支えました。こうした渡来系技術者の一人に、飛鳥寺の釈迦如来像制作に関わった仏師・鞍作止利がいます。飛鳥の文化は、こうした高度な技術によって形づくられていきました。



飛鳥寺

蘇我氏が建立した寺院で、日本における本格的な仏教寺院の始まりを示します。豪族が仏教を受け入れ、国家形成へ向かう最初期に建立されました。

- 📍 高市郡明日香村飛鳥 682
- ☎ 0744-54-2126
- 🗺 MAP P19 回 a-2



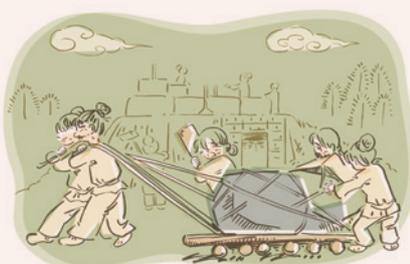
大官大寺

(大官大寺跡)

飛鳥・藤原地域で最大規模の寺院で、国家が直接建立した最初の官寺とされます。発掘で金堂・講堂・塔の礎石が確認され、国家主導の仏教文化を伝えています。

- 📍 奈良県高市郡明日香村大字小山
- ☎ 0744-54-5600 (明日香村文化財課)
- 🗺 MAP P19 回 a-1

写真提供:世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会HP



キトラ古墳

東アジア最古級の天文図をもつ壁画古墳です。版築による墳丘築造や天文知識に、中国・朝鮮半島の土木・学術技術の影響がみられます。

- 📍 高市郡明日香村大字阿部山
- ☎ 0744-54-5105
- (キトラ古墳壁画体験館 四神の館)
- 🗺 MAP P19 回 a-2



写真提供:世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会HP



檜隈寺跡 (於美阿志神社)

檜隈は渡来系氏族が居住した地域で、檜隈寺は東漢氏が氏寺として造営した仏教寺院です。瓦積基壇など百済系建築技術が用いられています。

- 📍 高市郡明日香村檜前
- ☎ 0744-54-5600
- (明日香村文化財課)
- 🗺 MAP P19 回 a-2

写真提供:世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会HP

(※1) 華嚴宗元興寺(塔跡)の開門は、令和8年3月末まで不定期開扉、同年4月より週末土日拝観開始となります。

田邊 征夫先生 インタビュー

日本の国づくりが試行錯誤された痕跡が眠っている、飛鳥・藤原の地域。発掘調査研究に長年携わってきた元興寺文化財研究所所長の田邊征夫氏に、この地の価値と、土の中の遺跡をどう伝えていくのかを聞いた。

●先生は長年、発掘調査研究に関わってこられました。発掘によって、過去の姿はどのように見えてくるのでしょうか。

発掘は、最初から全体像が見えているわけではありません。特に日本の古代建築は掘立柱ですから、建物そのものは残っていません。柱が立っていた痕跡なのか、抜き取られた跡なのか。土の違いを一つひとつ見極めていくところから始まります。

大官大寺の発掘では、焼失倒壊した金堂の軒垂木の突き刺さった痕跡を発見するなどし、最終的には基壇幅54メートルに及ぶ巨大な建物であったことがわかりました。また、回廊などの足場穴がともに焼けていることなどから、中門・回廊・塔が未完成で、建設途中で焼失したこともわかりました。

●「飛鳥・藤原の宮都」は現在、世界遺産登録を目指しています。先生はこの地域のどこに本質的な価値があるとお考えですか。

登録を目指す構成資産は、建造物が現存しない「純粹な考古遺跡」が中心になっている点の特徴です。海外の遺跡は石で造られ、立体的に残っていることが多いですが、日本の遺跡は土の中に埋まった平面的なものを中心です。

天皇の代わりごとに宮が移動していた時代から、七世紀になると飛鳥周辺に宮殿が集中し、政治の拠点が定まり始めます。その変化の過程が、遺構の重なりとして地下に残っている。こうした場所は、世界的に見ても非常に珍しいのです。

●その「土の中に残る遺跡」を、先生ご自身は現場でどのように読み解いてこられたのでしょうか。

私たちが若い頃、当時の奈良文化財研究所所長の坪井清足さんが「一寸先は闇や」とよく言っていました。本当に掘ってみないと分からない、という意味です。飛鳥でもそうですが、木造家屋が中心の日本の遺跡は、一般に地上に構築物が残りません。土の中にしか痕跡がない遺跡では、柱が立っただけのまま腐ったのか、抜き取られたのか、とにかく土の違いを見分けるところから始まる。考古学の基本は、そうした土の見方を身体で覚えることにあります。

●私たち一般の立場からは、土の中に残る遺跡をどのように受け止めればよいのでしょうか。

正直に言っても、平面的な遺跡は分かりにくい。それは事実です。だからといって、安易に一つの「正解の復元像」を示すことには慎重であるべきだとも思っています。復元は理解を助ける一方で、誤ったイメージを固定してしまう危険もあります。

ただ、何もイメージできないままでは、興味や関心も生まれません。復元建物などもそうですが、CGや模型などを使って複数の可能性を示しながら、「考える余地」を残すことが重要でしょう。議論そのものが、遺跡理解の入口になります。

飛鳥では完成した姿を示すというよりも、「こういう可能性が考えられる」という幅を示すことが大事だと思います。模型でも、ひとつの案に決めるのではなく、違う専門家が描いた案を並べて比べたり、考え続けていく姿勢そのものを見せる。そうしたプロセスを共有することで、遺跡を「考える対象」として受け止めてもらえるのではないのでしょうか。

●飛鳥は、渡来人の技術や仏教受容の面でも、非常に国際的な地域だったと言われます。

その通りです。仏教だけでなく、建築、土木、天文、暦法など、多様な知識

や技術が大陸からもたらされました。飛鳥の寺院や宮殿は、そうした国際的な交流の結晶です。また、日本が外来文化をそのまま模倣したのではなく、自分たちの社会に合わせて組み替えた痕跡が、遺跡としても残っている。そこに大きな意味があります。

●最後に、これから飛鳥・藤原と、私たちはどう向き合っていくべきでしょうか。

世界遺産に登録されることが到達点ではありません。むしろ、そこからが本当のスタートです。認知が高まり、人が訪れ、関心が集まる。その先で、まだ分かっていないことをどう解き明かしていくか。問いを広げるための出発点であり、その意識を共有することが、飛鳥・藤原と向き合う上で何より大切だと思います。



公益財団法人 元興寺文化財研究所 所長
田邊 征夫氏

1944年三重県生まれ。奈良文化財研究所所長等を歴任し、考古学研究と文化財保存に長年携わる。



吉水神社一目千本

秀吉、吉野で 花見をする

文禄3年（1594）。天下統一を成し遂げた豊臣秀吉は、総勢5,000人も大名や家臣、茶人、歌人らを引き連れ、吉野山で空前絶後の花見を催しました。当時は朝鮮出兵後の休戦中。講和交渉がつづく中でこの大イベントは、束の間の休息であると同時に、自らの権威が揺るぎないものであることを世に示す、巨大な政治的デモンストレーションでもありました。

さらに、この花見は、吉野水分神社へのお礼参りも兼ねていたかもしれませんが。同社は古くから子守明神として信仰されており、秀吉も子授け祈願を行ったと伝わっています。花見の前年に待望の跡継ぎ・秀頼が誕生しています。現在の社殿は秀頼によって再建されたものです。

吉野山の最初の三日間は雨に見舞

われました。喜藏院に伝わる江戸時代の史料『豊公看桜記』によると、秀吉が同行していた僧の道澄（どうしょう）に相談すると、道澄は「ここは肉食をしない土地です。これを止めなかったためでしょう」と答えます。それを聞いた秀吉は側近の木下大膳太夫に「肉を禁じよう。それでも雨が止まなければ、寺社を焼いて山を降りることにする」と言いました。道澄は真っ赤になつて退出し、ひとり思い悩んだそうです。もともと、秀吉はその様子を見て笑っていたと書かれていますので、冗談交じりの発言だったのかもしれませんが。一方、秀吉の部屋を退出した木下大膳太夫は「吉野の神の住まいをきれいにするのだ」と指示を出し、吉野山総出で掃除に励んだそうです。

なお、『吉野町史』には別の伝承



豊太閤花見塚

秀吉が花見を楽しんだと伝わる伝承地。現在は杉に囲まれ、桜の景観は限られるものの、吉野山の下千本から上千本までの尾根筋が一望できる眺望スポット。



写真:磯崎典央



写真:Photographer MIKI



イメージ図

秀吉がこの花見で本陣を置いたのが、現在の吉水神社である「吉水院」です。雨のあいだはここに公家や大名が出仕し、茶会や歌の会が催されました。その際に使用した道具や宝物の一部は寄贈され、吉水神社に伝わっています。

本陣から臨む「二目千本」

も記されています。吉野山の僧たちが全山あげて夜通し晴天祈禱をしたというものです。皆の祈りが天に届いたのか、翌日からは見事な快晴となり、桜も満開に。一行は無事、花見をすることができたそうです。

吉水神社の境内からの眺めは、中千本と上千本の桜を一度に見渡せることから、今日では「二目千本」と称される随一の吉野の桜の特等席です。谷を埋め尽くし、山肌を駆け上がるような桜の奔流を眺めることができます。

戦国武将たちの仮装大会？

この花見は、ただ酒を飲むだけの宴会ではありませんでした。参加者の面々に、各々「仮装（コスプレ）」をして花見をするように命じたのです。伊達政宗が晩年に語った言行録『木村宇右衛門覚書』に、そのときの様子が記されています。

秀吉自身は狸々緋の服を着、唐人笠をかぶり、金鞘張りの刀と大脇を差し、唐団扇を持つという派手な装いで、公家は薫物売りや懸香売り、前田利家は巻物売りでした。伊達政宗は山伏の恰好で現れ、茶店の使用人のふりをする秀吉の芝居につきあい、「今回の花見は装いで見事なのは、わしとそなただけだな。だが、これこそが、茶代の物数寄（茶の湯の趣向）の天下」と呼ぶべきものだ」と賞賛され

仁王像の記憶と金峯山寺の再興

たのだとか。吉野山に登ってきた秀吉は、本陣に入る前に、金峯山寺の仁王門を通って、本堂（蔵王堂）を参詣しています。仁王門が建立されたのは南北朝時代、本堂（蔵王堂）が再建されたのは、花見の2年前です。再建の際には、秀吉の弟の秀長が勸進（寄付集めのこと）の許可書を発行し花押をすえています。

蔵王堂は、東大寺大仏殿に次ぐ規模をもつ木造古建築として知られています。仁王門に安置されていた金剛力士立像（重要文化財）は、花見の約250年前、延元3年（1338）から翌年にかけて南都大仏師の康成によって造られたものです。現在、奈良国立博物館で公開されています。



金峯山寺仁王門の金剛力士立像
奈良国立博物館仏像館で令和8年9月13日(日)まで公開中

特別展「神仏の山 吉野・大峯 —蔵王権現に捧げた祈りと美—」

奈良国立博物館 2026年 4月10日(金) — 6月7日(日)
[前期] 4月10日(金) — 5月10日(日)
[後期] 5月12日(火) — 6月7日(日)

奈良国立博物館で4月から開催の本展では、修験道の聖地・吉野大峯の宝物を一堂に、蔵王権現に捧げた祈りの歴史をたどります。大峯山寺の秘仏本尊を含む蔵王権現像や道長の經典、秀吉の花見ゆかりの品などを展示予定です。豊臣秀長・秀頼による堂塔再興についてもご紹介します。



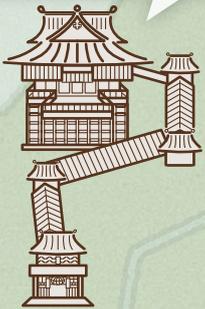
巡る 拝する

奈良 旅の証

神さま仏さまに手を合わせ静かに厳かに過ごす。その良き時間の思い出のひとつとなるのが御朱印です。昨今は季節に合わせた期間限定のものやデザインに工夫を凝らしたものが登場。中南部の四か寺でいただける美しい切り絵の御朱印はSNSでも話題になっています。2026年大河ドラマの主人公「秀長さん」やその家臣ゆかりのお寺や城跡の御朱印や御城印も。巡って集める奈良の旅、楽しんでみませんか。

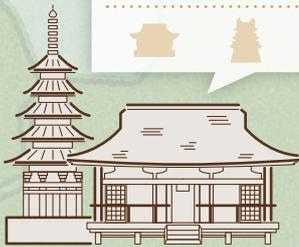
長谷寺

📍 桜井市初瀬731-1
☎ 0744-47-7001
🗺 MAP P21 a-1



室生寺

📍 宇陀市室生78
☎ 0745-93-2003
🗺 MAP P21 d-1



宇陀松山城

📍 宇陀市大宇陀下茶・上茶
☎ 0745-82-3976
(宇陀市教育委員会事務局文化財課)
🗺 MAP P21 b-2



中南部の四か寺を巡る



大和観音はるかぜ回廊・あぢさゐ回廊・もみじ回廊

西国三十三所観音巡礼の奈良県札所寺院である「第六番 壺阪寺」「第七番 岡寺」「第八番 長谷寺」と、それぞれに関わりの深い「大本山 室生寺」の四か寺で、それぞれの季節に合わせた御朱印をいただけます。境内の美しい様子を楽しみながらの拝観は一層心に残ります。

期間 大和観音はるかぜ回廊

2026年3月14日～5月6日

大和観音あぢさゐ回廊

2026年6月6日～7月5日

大和観音もみじ回廊

2026年10月中旬～12月初旬



壺阪寺 (はるかぜ)



岡寺 (あぢさゐ)



長谷寺 (もみじ)



室生寺 (あぢさゐ)

※御朱印の画像は過去のもので、2026年に頒布されるデザインとは異なります

大河ドラマ『豊臣兄弟!』の主演 秀長さんゆかりの地を巡る



豊臣秀長公～思いを馳せる 大和三寺巡り

奈良県内には秀長公を祀る寺院が三か寺あります、その壺阪寺(高取町)、長谷寺(桜井市)、春岳院(大和郡山市)で、各寺が所蔵する秀長公の肖像画、木像の御姿を現した特製切絵朱印をいただけます。

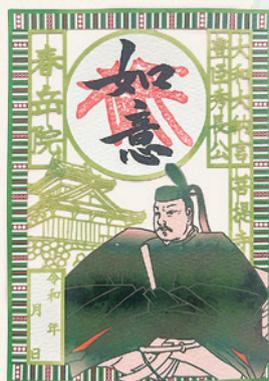
期間 2026年1月5日～2027年1月31日



長谷寺



壺阪寺



春岳院



奈良御城印周遊企画

秀長公が城主となった郡山城(大和郡山市)、そして秀吉・秀長兄弟に仕えた重臣が治めた宇陀松山城(宇陀市)、高取城(高取町)。さらに長谷寺(桜井市)の4つのスポットで御城印をいただけます。

期間 2026年3月中旬～(なくなり次第終了)

各御城印の販売場所

- 郡山城 / 柳沢文庫 (郡山城跡内)・大和郡山市観光協会 (JR郡山駅前)
- 高取城 / 高取町観光案内所夢創館 (土佐街道沿い)
- 宇陀松山城 / まちかどラボ (宇陀市松山地区)
- 長谷寺 / 長谷寺本堂東側にある納経所 (御朱印所)

詳細はこちら



郡山城

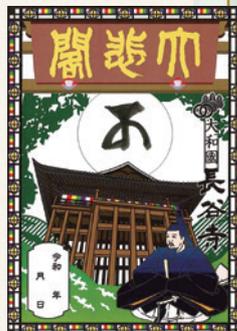


高取城

↑画像はイメージです



宇陀松山城



長谷寺

↑白色部分は切り絵です

4箇所すべての御城印を集めると
特別武将印
プレゼント



郡山城

- 📍 大和郡山市城内町
- ☎ 0743-53-1151 (大和郡山市)
- 📍 MAP P19 d-1



春岳院

- 📍 大和郡山市新中町2
- ☎ 0743-53-3033
- 📍 MAP P19 d-1

岡寺

- 📍 高市郡明日香村岡806
- ☎ 0744-54-2007
- 📍 MAP P19 b-2

壺阪寺

- 📍 高市郡高取町壺阪3
- ☎ 0744-52-2016
- 📍 MAP P19 a-2



高取城

- 📍 高市郡高取町高取
- ☎ 0744-52-1150 (高取町観光協会)
- 📍 MAP P19 a-2

祈りの回廊



いこまたいしゃ 往馬大社 宮司 谷野浩重 氏

昭和63年(1988)から往馬大社にて神職、平成5年(1993)から宮司を務める。明治時代以降、谷野家が宮司を継ぐようになって5代目となる。



特別講話 55 生駒山をご神体として始まった 社と杜を守り継ぐ

「ご祭神などについて教えてください。」

往馬大社は、生駒山を御神体としてお祭りされた非常に古い形態の神社で、本殿は生駒山を背にしてすべて東向きに建っております。神社は南向きになることが多いのですが、当社は生駒山を拜むかたちで七柱の神様をお祀りしています。『延喜式』を紐解くと、もともとは産土神の伊古麻都比古神と伊古麻都比売神の二柱を祀っていたと記されています。鎌倉時代になって五柱の八幡神が合わせ祀られるようになりました。当社の八幡神は神功皇后を中心としたご家族でして、その神功皇后の本地仏(※)であると伝わる十一面観音像を安置するお堂も境内にございます。神仏習合の名残りですね。本地仏が描かれた『生駒曼荼羅』(室町時代/県指定文化財/奈良国立博物館所蔵)も当社に伝えられています。「なんで神社に仏像が

あるのですか」とたまにお尋ねになる方がいらっしゃいます。

「日本は神仏が一緒にあった時代が長いのです」というお話をさせていただきます。

「往馬大社は「火祭り」でも知られていますね。

毎年スポーツの日の前日に行う行事で、奈良県無形民俗文化財に指定されています。当初は旧暦の8月11日でした。簡単なご説明になりますが豊作の感謝祭で、地域の方がそれぞれ作物をお供えして神様にお礼をするというものです。行事は南北2つの地域に分かれて進み、火松明を担いで7段の階段をいち早く駆け降りるのを競うのがクライマックスです。

「これからに向けての思いやご予定をお聞かせ願えますか。」

令和8年(2026)4月、宮司を息子に引き継ぐ予定です。権禰宜としてウェブでの発



生駒市市分町 1527-1
MAP P20 ②-2
0743-77-8001
近鉄一分駅より徒歩約7分
<https://ikomataisha.or.jp/>

信や境内でのコーヒーイベントなどを始めて、そうしたことをきっかけにお参りくださるご近所の方、若い世代の方もおいでです。新しい発想とともに伝統的なことを引き継いでほしいですね。往馬大社の社業は奈良県の天然記念物なんです。宅地開発が進んだ今、貴重な自然の森となっています。そうした空間で過ごすことで気持ち安らぐこともあるのではないのでしょうか。今年である令和8年(2026)もまた心身を清めに往馬大社にぜひお参りください。

(※1)「仏や菩薩が仮の姿として現れたものが日本の神々」という考えがあり、「本地仏」はその本来の姿である仏や菩薩を指す



WEBでダイジェストムービーが見れます!



WEBでダイジェストムービーが見れます!

奈良県観光プロモーション 公式YouTubeチャンネルで、特別講話のダイジェストムービーを視聴することができます。過去の特別講話ダイジェストムービーや、その他、様々な奈良県観光PR動画も発信しています。



特別講話



かわはらであと ぐふくじ おうぎたにみょうえい
川原寺跡 弘福寺 住職 扇谷明英 師

川原寺跡 弘福寺に三人姉妹の次女として生まれる。住職である父亡き後、跡を継ぎ仏門へ。本堂の常時公開や特別公開「おかえり傳仏」など、住職として新たな取り組みを行っている。



飛鳥の風を伝える 「謎の大寺」の法灯、再び明るく

―創建について教えてください。

のちの天智天皇である中大兄皇子が、お母様の齊明天皇の菩提を弔って齊明天皇の川原宮跡に寺院を建立したことに始まると伝えられております。一塔二金堂式という飛鳥時代には画期的な建物だったことがわかってきました。時々お受けする「川原寺と弘福寺、名前が2つあるのはなぜ？」とのご質問は、なかなか難問です。弘福寺と言う名は平安時代に出てきますが創建当時について含めて不詳な点が多く、「謎の大寺」と呼ばれることもあるお寺です。

―想像の余地が多く残されたお寺なのですね。

明日香村を巡るとき、古代を想起してワクワクされる方は多いことでしょう。当寺の写経道場からの眺めにも「まるでタイムスリップしたようですね」とおっしゃってくださいる方がおいです。窓から見える四角

く盛り上がっているところは講堂跡。そして草原の向こう正面

に天香久山。持統天皇が「春過ぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山」と詠んだ山です。この道場は『日本書紀』に「天武天皇が書生を集めて川原寺で一切経の写経を行った」と記された、日本で初めて写経が行われたとされる場所に建っております。最近SNSで知ってくださった方や外国からの旅行者もよくお越しくださいます。どなたにも堅苦しくならず、墨をすつての写経で仏教に触れてもらいたくて、お手本も簡易なものなど複数ご用意しています。そうそう、境内に「瑠璃石」と呼んでいる中金堂の礎石が遺されています、これは大理石でできた希少な礎石なんです。こうした1400年前の光景を彷彿とさせる空間で心落ち着く時間を過ごしてもらえたらと願いながら皆様をお迎えしています。

く盛り上がっているところは講堂跡。そして草原の向こう正面

―住職を継いでから始めた新たな取り組みもあると伺いました。

「おかえり傳仏」という特別公開を始めました。川原寺中金堂の内壁は金箔を施した三尊傳仏をタイルのように張り巡らせていたそうで、川原寺裏山遺跡からは多数の傳仏などが出土しています。飛鳥時代の明日香村が国際都市だったと感じさせてくれる川原寺の遺物を、川原寺跡 弘福寺でご覧いただくのは念願でした。2026年もゴールデンウィーク中に開催する予定です。明日香村に足を運び、飛鳥時代に想いを馳せていただけたらうれしく思います。



WEBで
ダイジェスト
ムービーが
見れます!



高市郡明日香村川原 1109
MAP P19 D a-2

0744-54-2043

近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡橋本」下車、徒歩約3分または「川原」下車、徒歩約2分

<https://kawaharadera.com/>



こうふくじ 桜 興福寺 3月下旬~4月下旬 藤 4月下旬~5月上旬 MAP A c-2

さんじゅうのとうとくべつこうかい
三重塔特別公開 国宝など
7/7(火) ※弁才天供 (10時~)

北円堂と並び興福寺伽藍で最古の三重塔が年に一度の特別開扉。平安時代の趣を伝える塔の初層内陣中央の壁面には東に薬師如来、西に阿弥陀如来、南に釈迦如来、北に弥勒如来がそれぞれ千体描かれています。10時からは僧侶による弁才天供の法要が厳修されます。

所 奈良市登大路町48 ☎ 0742-22-7755
行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ●近鉄奈良駅から徒歩約5分
HP <https://www.kohfukuji.com/>



三重塔(国宝)
写真:興福寺

ふくちいん 桜 福智院 3月~4月 MAP A c-2

ほうかんじゅういちめんかんのん ぼさつりゅうぞう
宝冠十一面観音菩薩立像
3/17(火)~3/23(月)

本尊・地藏菩薩坐像(重文)は総高約7m。地藏大仏と呼ばれ、千仏光背を背負っています。伊勢の裏鬼門を守る十一面観音菩薩立像は宝冠を頭に載せたお姿。明治の廃仏毀釈の後、お迎えした客仏です。

所 奈良市福智院町46 ☎ 0742-22-1358
行 JR・近鉄奈良駅から天理駅・下山行きバス「福智院町」下車、徒歩すぐ



宝冠十一面観音菩薩立像
写真:勝飛鳥園

がんごうじ 元興寺 MAP A c-2

じくそうちこうまんだらけんしていふんかざい
軸装智光曼荼羅(県指定文化財)
3/17(火)~3/23(月)、9/20(日)~9/26(土)

日本初の本格的寺院・法興寺(飛鳥寺)で平城遷都にともなって新築移転された元興寺。現存する僧坊遺構は極楽坊と呼ばれる浄土発祥の聖地でもあります。奈良時代の僧、智光が夢で見た極楽浄土を描かせたとされる智光曼荼羅の大型軸装本(室町時代作)が彼岸会の期間だけ本堂正面に祀られます。

所 奈良市中院町11 ☎ 0742-23-1377
行 ●近鉄奈良駅から徒歩約15分
●JR奈良駅から徒歩約20分
HP <https://gangoji-tera.or.jp/>



境内

れんじょうじ 璉城寺 MAP A c-2

あみだにょらいりゅうぞう
阿弥陀如来立像など 重文など
5/1(金)~5/31(日) ※5/11(月)、18(日)、25(月) 休み

天平年間開基と伝わる古刹。本尊の阿弥陀如来立像は光明皇后がモデルとされる白く美しい女人のお姿。袴は50年に一度、取り替えられます。本尊と脇侍の木造観音菩薩立像(奈良時代・重文)、木造勢至菩薩立像(室町時代・重文)を特別に拝観できます。

所 奈良市西紀寺町45 ☎ 0742-22-4887
行 JR・近鉄奈良駅から市内循環(外回り)バス「紀寺町」下車、徒歩約3分



阿弥陀如来立像(県指定文化財)
写真:璉城寺

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

普段は拝観できない秘宝・秘仏の特別開帳を紹介

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」の情報は、「祈りの回廊」公式ホームページでもご確認いただけます。
<http://inori.nara-kankou.or.jp/>



かすがたいしや かくほうでん 春日大社 国宝殿 藤 4月下旬~5月上旬 MAP A d-2

かすがたいしや けいばすびょうぶ うま びじゅうつ
①春日大社 競馬図屏風と馬の美術(仮題) 重文など
どうじかいさい とよとみきょうだい かすがたいしや
②同時開催 豊臣兄弟と春日大社(仮題)
①24/25(土)~7/12(日) ※5/11(月)、6/15(月) 休館

春日大社と馬の関係は深く、春日若宮おん祭など大祭でも重要な役割を果たしています。競馬図屏風をはじめ、春日大社に伝わる馬に関する名品を展示。大河ドラマで話題の豊臣兄弟と春日大社の深い関わりを紹介する企画展も同時開催。

所 奈良市春日野町160 ☎ 0742-22-7788
行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ
●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約10分
HP <https://www.kasugataisha.or.jp/museum/>



競馬図屏風(右隻) 室町時代

ふくういん 不空院 MAP A d-2

ほんぞん ふくうけんさくかんのん ぼさつごぞう ひぶつ うがべんざいてん
本尊・不空絹索観音菩薩坐像と秘仏・宇賀弁財天 重文など
4/25(土)~5/10(日)

縁切り・縁結びで知られる古刹不空院では、本堂にて本尊・不空絹索観音菩薩坐像、2022年に落慶した鎮守堂では宇賀弁財天女坐像が特別公開されます。鎮守堂・内陣は花々の天井画で荘厳されています。

所 奈良市高畑町1365 ☎ 0742-26-2910
行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町(わりいしちょう)」下車、徒歩約10分
HP <https://www.fuku-in.com/>



宇賀弁財天女坐像
写真:不空院

こんぶいん ハンゲシヨウ、ナンジャモンジャ 興福院 4月~6月 MAP A c-1

せいじやく つつ とよとみひでながこう あまでら
静寂に包まれた豊臣秀長公ゆかりの尼寺
一重文阿弥陀三尊像・客殿特別公開と遠州流茶席一 重文など
6/5(金)~6/7(日)、6/19(金)~6/21(日)

客殿檜皮葺屋根全面修理勧進のため、奈良時代の本尊阿弥陀三尊像や小堀遠州造営の客殿(共に重文)などを特別公開。客殿では秀長公に因むお茶席(立礼)も。緑深まる初夏の境内に心洗われます。

所 奈良市法蓮町881 ☎ konbuin.nara@gmail.com
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行きバスまたは大和西大寺駅から近鉄・JR奈良駅(西口)行きバスで「佐保小学校」下車、徒歩約3分
●近鉄奈良駅から徒歩約20分
HP <https://www.konbu-in.com>



本堂
写真:興福院

【慈眼寺 A c-1】聖観世音菩薩:3/9(月) ※二の午大法要
【伝香寺 A c-2】地藏菩薩立像(重文)など:本堂特別公開 3/12(木)、※地藏菩薩更衣法要 7/23(木)
【興善寺 A c-2】観経曼陀羅拜観:3/17(火)~3/23(月) ※要予約、9/20(日)~9/26(土) ※要予約
お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。(掲載内容は2026年2月現在のものです)



ごこういん 五劫院

MAP A d-1

ごこうしゅうい あみだぶつざどう 五劫思惟阿弥陀仏坐像 **重文**

8/1(土)～8/10(月)

東大寺の北に位置する古刹。南都焼討に遭った東大寺の再興に尽力した重源上人が宋から請来したと伝わる五劫思惟阿弥陀仏坐像は果てなく長い時間を瞑想されたお姿で、特に頭髮が個性的です。



五劫思惟阿弥陀仏坐像(重文)
写真:五劫院

所 奈良市北御門町24
☎ 0742-22-7694
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台(くにみだい)八丁目行きバス「今在家」下車、徒歩約8分

だいはんじ 大安寺

MAP A b-2

ひぶつ ばとうかんのん ぼざつりゅうざう 秘仏・馬頭観音菩薩立像 **重文**

3/1(日)～3/31(火)

聖徳太子が建立した熊凝精舎(くまごりしゅうじゃ)が草創。南都七大寺のひとつです。がん封じ・病氣平癒にご利益ありとされ、馬頭観音菩薩立像は諸悪を食べ尽くし、災厄を除くとされる天平時代の秘仏です。



馬頭観音菩薩立像(重文)
写真:榎飛鳥園

所 奈良市大安寺2-18-1 ☎ 0742-61-6312
行 ●JR・近鉄奈良駅からシャープ前、白土町(しらつちちょう)行きバス「大安寺」下車、徒歩約10分 ●JR奈良駅から徒歩約25分
HP <https://www.daijanji.or.jp/>

おびとけでら 帯解寺



3月下旬～4月中旬



さるすべり 7月下旬～9月中旬

MAP A d-1

ひぶつ ひほうとくべつこうかい 秘仏・秘宝特別公開 **重文など**

3/3(火)～3/12(木)

本尊・帯解子安地藏菩薩(重文)は、古くから子授け・安産祈願の霊像として全国から信仰を集めています。そのほか春日赤童子画像など寺宝の仏像や仏画が特別公開されます。また、2026年4月24日には小野小町忌、7月23、24日には大法要帯解子安地藏会式が執り行われます。



帯解子安地藏菩薩像(重文)
写真:榎飛鳥園

所 奈良市今市町734 ☎ 0742-61-3861
行 ●JR帯解駅から北へ徒歩約5分 ●近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車、西へ徒歩約10分
HP <https://obitokedera.or.jp/>

ふたいじ 不退寺



3月中旬～4月上旬



黄しよぶ 5月上旬～中旬



睡蓮 6月下旬～11月中旬

MAP A b-1

ありわらのなりひら あそんがぞう しほうてん 在原業平朝臣画像、寺宝展

3/1(日)～5/31(日) 5/28(木)のみ多宝塔特別公開(業平忌)

レンギョウ、椿、黄しよぶなど四季折々の花が彩る在原業平ゆかりの古刹。本尊は業平自作と伝わる聖観音菩薩立像。六歌仙のひとりでもある在原業平朝臣画像の他、寺宝の数々が特別公開されます。



在原業平朝臣画像
写真:永野龍鳴荘

所 奈良市法蓮町517 ☎ 080-8943-1201
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバス「一条高校前」下車、徒歩約5分 ●近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「不退寺口」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <http://www3.kcn.ne.jp/~futaiji/>

しょうりやくじ 正暦寺



4月上旬～中旬

MAP A d-1

しゅんき とくべつこうかい 春季特別公開 **重文など**

4/18(土)～5/8(金)

992(正暦3)年、清流と澄んだ空気、新緑の美しい地に創建された古刹。瑠璃殿(収蔵庫)にて、台座に腰を掛け、踏割蓮華の上に足を置く秘仏本尊・薬師如来倚像(重文)や寺宝が特別公開されます。



薬師如来倚像(重文) 写真:正暦寺

所 奈良市菩提山町157 ☎ 0742-62-9569
行 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約25分 ●JR・近鉄天理駅からタクシー約20分
HP <https://shoryakuji.jp/>

かいりゅうおうじ 海龍王寺



3月中旬～4月中旬

MAP A b-1

じゅういちめんかんのん ぼざつりゅうざう しほうてん 十一面観音菩薩立像、寺宝展 **重文など**

3/23(月)～4/7(火)、5/1(金)～5/9(土)

遣唐使の航海安全祈願の寺として信仰されたことから、現在も旅行や留学の安全が祈願されています。雪柳や新緑が境内を彩る季節、光明皇后が刻んだ像をもとにした本尊・十一面観音菩薩立像などを拝観できます。



十一面観音菩薩立像(重文)
写真:榎飛鳥園

所 奈良市法華寺町897 ☎ 0742-33-5765
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩すぐ ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <https://kairyuouji.jp/>

きこうじ 喜光寺



蓮 6月下旬～8月上旬
午前中が見頃

MAP A a-2

べんてんどうしんえい うがじん ひぶつ とくべつかいひ 弁天堂神影 宇賀神(秘仏) 特別開扉

6/18(木)～8/16(日)

行基菩薩が創建し、東大寺大仏殿のモデルとして建てられたとされる本堂は「試みの大仏殿」と呼ばれます。特別開扉される宇賀神像は「人頭蛇身」の神秘的なお姿です。夏季には境内が約250鉢のハスの花で彩られます。



宇賀神像 写真:喜光寺

所 奈良市菅原町508 ☎ 0742-45-4630
行 ●近鉄尼ヶ辻駅から徒歩約10分 ●近鉄大和西大寺駅から徒歩約20分 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅南口行きバス「菅原東」下車徒歩約6分
HP <https://kikouji.com/>

ほっけじ 法華寺



蓮 6月下旬～7月中旬

MAP A b-1

じゅういちめんかんのん ぼざつりゅうざう ①十一面観音菩薩立像 **国宝**

3/20(金)・祝～4/7(火)、6/5(金)～6/14(日)

くにしせき めいしやうてん ②国史跡 名勝庭園

3/1(日)～8/31(月)

光明皇后の発願で創建。本尊・十一面観音菩薩立像は光明皇后がモデルとも。江戸時代初期の回遊式庭園の名勝庭園では5月頃カキツバタが見頃を迎えます。



①十一面観音菩薩立像(国宝)
写真:榎飛鳥園

所 奈良市法華寺町882 ☎ 0742-33-2261
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <https://hokkejimonzeki.or.jp/>

【東大寺 A d-1】重源上人坐像(国宝)など《俊乗堂》:7/5(日) ※俊乗忌 *法要終了後に特別開扉
【称名寺 A c-1】獨慮庵、本尊・阿弥陀如来坐像(重文)、釈迦如来坐像(重文):5/15(金) 10:00～15:00 ※珠光忌



さいだいじ 桜 4月初旬~中旬 MAP A a-1

西大寺 聚宝館特別公開 国宝など

4/20(月)~5/10(日)

称徳天皇の勅願により建立された南都七大寺のひとつ。鎌倉時代に観尊上人によって再興されました。開館される聚宝館には平安時代の塔本四仏坐像(重文)、吉祥天立像(重文)や鎌倉時代の金銅宝塔(国宝)など、多数の尊像・寺宝が納められています。

所 奈良市西大寺芝町1-1-5
☎ 0742-45-4700
行 近鉄大和西大寺駅から徒歩約3分
HP <https://saidaiji.or.jp/>



金銅宝塔(国宝) 写真:橋飛鳥園

やくしじ 桜 3月下旬~4月上旬 蓮 7月~8月中旬 MAP A a-2

薬師寺 三大壁画特別公開

①三大壁画特別公開
②国宝東塔・西塔特別開扉 国宝など
①②4/25(土)~5/10(日)

天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を祈願して建立したと伝わる薬師寺。金堂を中心に東塔と西塔の2つの三重塔を配し、講堂、回廊が建ち並ぶ華麗な伽藍です。三大壁画特別公開として玄奘三蔵院伽藍の「大唐西域壁画」、食堂の「阿弥陀三尊浄土図」、「仏教伝来の道と薬師寺」、慈恩殿の大障壁画「東と西の融合」を公開。同時に東塔(国宝)西塔が特別開扉されます。(塔の中にはお入りいただけません)。



② 東塔(国宝) 写真:薬師寺

ひがしなるかわかんのんこう おうげんじ MAP B a-2

東鳴川観音講(応現寺) 不空羂索観音菩薩坐像 重文

毎月第一日曜日

奈良市と京都府の県境に接する東鳴川町に伝わる諸尊を守る観音講。不空羂索観音菩薩坐像は興福寺南円堂が焼失する以前の本尊を模したとされる平安後期の貴重な仏像です。

所 奈良市東鳴川町31 応現寺
☎ 0742-34-5369(奈良市教育委員会文化財課)
行 JR・近鉄奈良駅から下狹川または広岡行きバス「東鳴川」下車、徒歩約5分
HP <https://www.city.nara.lg.jp/site/bunkazai/10591.html>



不空羂索観音菩薩坐像(重文) 写真:奈良市教育委員会

① 玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画
① 食堂ご本尊・阿弥陀三尊浄土図 仏教伝来の道と薬師寺

所 奈良市西ノ京町457
☎ 0742-33-6001
行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ
●JR・近鉄奈良駅から奈良県総合医療センター行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ
HP <https://www.yakushiji.or.jp/>

① 慈恩殿 東と西の融合 写真:薬師寺

じょうるりじ 芙蓉 8月下旬 MAP B a-2

浄瑠璃寺 秘仏・吉祥天女立像 重文

3/21(土)~5/20(水)

②三重塔初層開扉・薬師如来坐像 国宝 重文
毎月8日、3/20(金)・(祝)、9/23(水)・(祝)
(ただし好天の日に限る)

平安時代の浄土式庭園と九体阿弥陀如来像を安置する本堂(国宝)を持つ名刹。厨子入りの吉祥天女立像や三重塔(国宝)初層内陣の薬師如来坐像が公開されます。

所 京都府木津川市加茂町西小札幌40
☎ 0774-76-2390
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「浄瑠璃寺前(浄瑠璃寺)」下車、徒歩約3分



① 吉祥天女立像(重文) 写真:橋飛鳥園

がんせんじ みつばつじ みやこわすれ あじさい MAP B a-2

岩船寺 秘仏・如意輪観音菩薩、秘仏・弁財天、秘仏・羅刹天

4/1(水)~5/31(日)

②三重塔初層特別開扉 重文
4/25(土)~5/6(水)・(振) ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり

約5000株のあじさいで有名な花の御寺。3体の秘仏が特別公開される他、ゴールデンウィークには三重塔初層の色鮮やかな内部壁画も拝観できます。

所 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門43
☎ 0774-76-3390
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「岩船寺」下車、徒歩すぐ
HP <https://gansenji.or.jp/>



① 秘仏・弁財天像 写真:橋飛鳥園

かいじゅうせんじ MAP B a-1

海住山寺 春の寺宝特別公開 重文など

4/25(土)~5/6(水)・(振)

天平7(735)年、聖武天皇が東大寺大仏造立平安祈願のため、良弁僧正に命じて建立されたと伝わる古刹。数々の寺宝とともに、初重に裳階(もこし)がついた国宝・五重塔(内陣の公開は秋のみ)も必見です。

所 京都府木津川市加茂町例幣海住山20
☎ 0774-76-2256
行 ●JR加茂駅西口から奥畑行きバス「海住山寺口」下車、徒歩約20分(※バスは平日のみ運行)
●JR加茂駅西口から和東町原山行きバス「岡崎(加茂)」下車、徒歩約30分 ●JR加茂駅からタクシー約10分
HP <http://www.kaijyusenji.jp/>



五重塔(国宝) 写真:橋飛鳥園

げんこうじ MAP B a-1

現光寺 本尊・十一面観音坐像 重文

5/3(日)・(祝)~5/5(水)・(祝)

現光寺の収蔵庫に安置される本尊・木造十一面観音坐像(重文)は、慶派の仏師作と推定される全国にも数体という珍しい坐像のお姿です。

所 京都府木津川市加茂町北山ノ上9
☎ 0774-76-2256
(海住山寺までお問い合わせください)
行 JR加茂駅東口から徒歩約15分、お寺付近は道幅狭小・境内に駐車場はありません



十一面観音坐像(重文) 写真:橋飛鳥園

【唐招提寺 A a-2】①覚盛上人坐像(重文)など:5/19(火) ※中興忌梵網会(うちわまき) ②鑑真和上坐像(国宝):6/5(金)~6/7(日) ※開山忌舍利会 ③地藏菩薩立像(重文)など:8/23(日)・8/24(月) ※地藏盆

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。(掲載内容は2026年2月現在のものです)



まつおでら **松尾寺** 5/15~6/5 カサブランカ 7月中 c-1

にほんゆいいつ とねりしんのう にほんしょきへんざん ぞう
①日本唯一の舎人親王(日本書紀編纂)像
 3/20(金)・朝~12/20(日)

しゅげんどう (役行者像等公開)
②修験道まつり
 9/1(火)~9/13(日)

日本書紀を編纂した舎人親王が開基と伝わる日本最古の厄除霊場。日本唯一の舎人親王像や、修験道の開祖で日本最大といわれている役行者像等を公開されます。円空作、役行者像も拝観出来ます。

所 大和郡山市山田町683 ☎ 0743-53-5023
 行 ●JR大和小泉駅(東口)から近鉄郡山駅行きバス、または近鉄郡山駅から大和小泉駅東口行きバス「松尾寺口」下車、徒歩約60分 ●JR大和小泉駅から徒歩約90分
 HP <https://matsuodera.com/>



①舎人親王像 写真:大和松尾寺

とうみょうじ **東明寺** c-1

やくしるりこうにょらいごぞう **薬師瑠璃光如来坐像など** 重文など

6/1(月)~6/15(月)

舎人親王が持統天皇の眼病平癒への報恩謝徳の為に建立。ご本尊・薬師瑠璃光如来坐像や毘沙門天立像、吉祥天立像(いずれも重文)などが特別公開されます。期間中は予約不要で拝観することができます。

所 大和郡山市矢田町2230 ☎ 0743-52-7320
 行 近鉄郡山駅から小泉駅東口または矢田寺前行きバス「横山口」下車、徒歩約30分
 HP <https://toumyouji.com/>



本尊・薬師瑠璃光如来坐像(重文) 写真:榊飛鳥園

あんようじ **安養寺** d-2

あみだにょらいごぞう **阿弥陀如来立像** 重文

3/14(土)~3/22(日)、9/19(土)~9/27(日)

江戸時代初期に創建。特別公開される阿弥陀如来立像(重文)は鎌倉時代の仏師・快慶の作品といわれます。ふくよかな容貌や流麗な衣文線(えもんせん)など快慶仏ならではの特色と技法をじっくり拝観できます。毎月25日14:00~写経会も行われています。

所 磯城郡田原本町八尾40
 行 近鉄田原本駅から徒歩約20分またはタクシー約3分
 HP <https://anyouji.jp/>
 開帳時間等詳細、お問い合わせは安養寺HPをご確認ください



阿弥陀如来立像(重文) 写真:田原本町教育委員会

しょうれんじ だいにちどう **正蓮寺 大日堂** a-1

だいにちにょらいごぞうとくべつこうかい **①大日如来坐像特別公開** 重文

ねこい ねはんずとくべつこうかい **②猫入り涅槃図特別公開**

①②9/20(日)~9/23(火)・朝

正蓮寺大日堂(重文)に安置されている100年ぶりに修復になった本尊の大日如来坐像(重文)特別公開にあわせて、全国でも十数例しか確認されていないといわれる猫が描かれた「猫入り涅槃図」が絵解き解説つきで特別公開されます。

所 橿原市小綱町335
 行 support@irukashrine.jp (小綱町文化財保存会)
 ●近鉄大和八木駅から徒歩約10分
 ●JR歌仙橋駅から徒歩約15分
 HP <https://irukashrine.jp/> (小綱町文化財保存会)



②猫入り涅槃図 写真:小綱町文化財保存会

やたでら **矢田寺** つつじ 4月下旬~5月上旬 あじさい 5月下旬~7月上旬 c-1

じぞうぼさつりゅうぞう えんまどう **地藏菩薩立像、閻魔堂** 重文など

6/1(月)~6/30(火)

天武天皇が開基に関係する古刹。「矢田のお地藏さん」と親しまれ、境内に無数のアジサイが咲き誇る頃、本堂で本尊・地藏菩薩立像などを拝観できます。閻魔像を安置する閻魔堂も特別公開されます。

所 大和郡山市矢田町3506 ☎ 0743-53-1445
 行 近鉄郡山駅から矢田寺前行きバス終点下車徒歩約10分(土・日)。平日は大和小泉駅東口行きバスで「横山口」下車、またはJR大和小泉駅(東口)から近鉄郡山駅行きバスで「横山口」下車徒歩約18分
 HP <http://www.yatadera.or.jp/>



地藏菩薩立像(重文) 写真:矢田寺

ほうりゅうじ **法隆寺** c-1

ゆめどのほんぞんく せかんのぞうとくべつかいひ **夢殿本尊救世観音像特別開扉** 国宝

4/11(土)~5/18(月)

現存する世界最古の木造建築物群(西院伽藍)を有する聖徳太子建立の寺院。太子供養の伽藍として建立された東院伽藍の夢殿(国宝)にて太子等身像と伝わる秘仏・救世観音菩薩立像(国宝)が特別開扉されます。

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1 ☎ 0745-75-2555
 行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩すぐ
 ●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩すぐ
 HP <https://www.horyuji.or.jp/>



夢殿本尊・観音菩薩立像【救世観音】(国宝) 写真:榊飛鳥園

ちようごそんしじ **朝護孫子寺** 桜 3月下旬~4月上旬 b-2

ひぶつ びしゃもんでんのうぞう **秘仏・毘沙門天王像**

7/1(火)~7/12(日)

「信ずべき貴ぶべき山」信貴山に、毘沙門天王を感得した聖徳太子が創建したと伝わる名刹。寅をシンボルとすることも知られます。本尊で秘仏の毘沙門天立像が特別公開され、内陣から間近に拝観することができます。

所 生駒郡平群町信貴山2280-1 ☎ 0745-72-2277(本坊)
 行 JR・近鉄王寺駅または近鉄信貴山下駅から信貴山門行きバス「信貴大橋」下車、徒歩約5分
 HP <https://www.sigisan.or.jp/>



信貴山三尊像(お前立) 撮影:吉田写真店

ごくらくじ **極楽寺** c-2

ひろしまだいぶつ とくべつ かいちよう **広島大仏・特別御開帳**

8/1(土)~8/15(日)

広島大仏は、顔幅と長さがともに4尺(約120cm)と、身体に対して大きめのお顔が特徴の平和を願う仏様。1201年に山形で作成され、廃仏毀釈を経て広島に渡り、終戦を迎え、戦後復興の際行方が分からなくなるも2011年に極楽寺にて発見されました。限定御朱印もあります。

所 生駒郡安堵町東安堵1453 ☎ 0743-57-2231
 行 JR法隆寺駅からかしの木台一丁目行きバス「安堵町役場」下車、徒歩約5分
 HP <https://gokurakuji.org/>



広島大仏 写真:極楽寺

【法輪寺 c-1】妙見菩薩立像など:4/15(火) ※妙見会式



つばさから **壺阪寺** 桜 3月下旬~4月上旬 (南法華寺)

山吹 4月中旬~4月下旬

あじさい 6月中旬~7月上旬

MAP a-2

①大雛曼荼羅 2/28(土)~4/18(土)

②二大塔同時開扉 4/25(土)~7/5(日)

眼病に靈驗あらたかな古刹。4,000 体以上のお雛様が並ぶ大雛曼荼羅は壮観。重文・三重塔と多宝塔の開扉、本尊の十一面千手観世音菩薩に浄布で触れられるお身拭い結縁も開催されます。

所 高市郡高取町壺阪3 ☎ 0744-52-2016

行 近鉄壺阪山駅から壺阪寺前行きバス終点下車、徒歩すぐ

HP <https://www.tsubosaka1300.or.jp/>



本尊・十一面千手観音菩薩坐像 (撮影：藤井金治)

かんらん **おふさ観音** 5月中旬~6月中旬

MAP a-1

①本尊・十一面観音菩薩立像 4/17(金)・4/18(土)

②秘宝・生き人形、寺宝公開 5/15(金)~9/30(水)

厨子内に安置される秘仏本尊を拝観できるのは年に2日間だけ。また寺宝の公開期間中はパラや風鈴が境内を彩ります。

所 橿原市小房町6-22 ☎ 0744-22-2212

行 近鉄大八木駅から下市口駅行き、近鉄御所駅行きバス「小房(おふさ)」下車、徒歩約5分 ●近鉄大八木駅から徒歩約25分またはタクシーで約10分 ●JR畷駅から徒歩約10分

HP <https://www.ofusa.jp/>



パラまつり 写真：おふさ観音

たんざんじんじや **談山神社** 桜 4月上旬~中旬

MAP b-2

談峯如意輪観音菩薩坐像 6/1(月)~7/31(金)

中大兄皇子と中臣鎌足(のち藤原鎌足)が国政改新の策を談合した多武峰(とうのみね)に建つ古社。ご祭神は鎌足公。世界唯一の木造十三重塔が壮麗です。足腰の病や出世、災難除けに靈驗あらたかとされる秘仏が特別公開されます。

所 桜井市多武峰319 ☎ 0744-49-0001

行 JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス終点下車、徒歩約3分

HP <https://www.tanzan.or.jp/>



談峯如意輪観音菩薩坐像 写真：談山神社

たちばなでら **橋寺** 桜 3月下旬~4月中旬

MAP a-2

聖倉殿(収蔵庫)特別公開 重文など 4/18(土)~5/6(水)・(振)

聖徳太子生誕の地といわれ、太子建立の7カ寺の一つ。本堂の太子殿には、聖徳太子35歳の像(重文)が安置されています。聖倉殿にて伝・日羅立像(重文)や聖徳太子絵伝3・4幅が特別公開されます。往生院では、260点にもおよび華の天井画を拝観することができます。

所 高市郡明日香村橋532 ☎ 0744-54-2026

行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡橋本」または「川原」下車、いずれも徒歩約3分

HP <https://tachibanadera-asuka.jimdofree.com/>



伝・日羅立像(重文) 写真：榎島園

あべもんじゅいん **安倍文殊院** 桜 3月下旬~4月上旬

コスモス 9月中旬~10月下旬

MAP a-2

①金閣浮御堂霊宝館 春夏の寺宝展 国宝など 春：3/1(日)~5/31(日)、夏：6/1(月)~8/31(月)

②秘仏・十二天 4/25(土)~5/6(水)・(振)

安倍仲麻呂御尊像や秘仏を拝観できるほか、大型連休中のみ秘仏・十二天軸がすべてそろって公開されます。

所 桜井市阿部645 ☎ 0744-43-0002

行 ●JR・近鉄桜井駅から桜井市コミュニティバスまたは石舞台行きバス「安倍文殊院」下車、徒歩すぐ ●JR・近鉄桜井駅から徒歩約20分またはタクシー約5分

HP <https://www.abemonjuin.or.jp/>



本堂 写真：安倍文殊院

おかでら **岡寺** 石楠花 4月中旬~5月上旬

MAP b-2

本堂内々陣お扉特別開扉 重文 3/28(土)~7/5(日)

西国第7番札所の厄除け霊場。高さ4.85mの本尊・如意輪観音坐像は日本最大の塑像(土でできた仏像)で、迫力ある全身を拝観できます。また厄除の観音様としても信仰を集めています。ゴールデンウィークに『華の池~水面に浮かぶ天竺牡丹~』が開催されます。

所 高市郡明日香村岡806 ☎ 0744-54-2007

行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡寺前」下車、徒歩約10分

HP <https://www.okadera3307.com/>



塑造 如意輪観音坐像(重文) 写真：岡寺

せっこうじ **石光寺** 牡丹 4月中旬~下旬

芍薬 5月上旬~中旬

さるすべり 8月上旬~中旬

MAP a-1

日本最古の石仏開帳 4/14(水)~5/14(水)

當麻曼荼羅を織った中将姫ゆかりの「染の井」糸掛桜が現存する寺院で、境内で発掘された、7世紀末頃の弥勒石仏が公開されます。例年、牡丹や芍薬が期間中に見頃を迎えます。

所 葛城市染野387 ☎ 0745-48-2031

行 ●近鉄二上神社口(にじょうじんじやぐち)駅から徒歩約13分 ●近鉄当麻寺駅から徒歩約20分

HP <https://sekkouji.or.jp/>



弥勒如来石仏 写真：石光寺

ほうざんじ **寶山寺** 獅子閣 重文

MAP a-2

5/3(日)・(祝)~5/5(水)・(祝)、9/21(月)・(祝)~9/23(水)・(祝)

本堂本尊・不動明王像に加え、聖天堂に大聖歡喜天が祀られ、「生駒の聖天さん」として、信仰を集めています。獅子閣は明治17年落慶の洋風客殿。木製螺旋階段や色ガラス入りの扉・窓、2階ベランダ、細部に凝った造作は必見です。

所 生駒市門前町1-1 ☎ 0743-73-2006

行 近鉄生駒駅からケーブル「宝山寺」下車、徒歩約10分

HP <https://www.hozanji.com/>



獅子閣内部(重文) 写真：飛鳥園

【靈山寺 b-2】薬師三尊像(重文)：5/17(日) ※薔薇会式えと祭り
 【當麻寺 a-1】裏板曼荼羅、板光背など《曼荼羅堂》：4/13(月)~4/15(水)
 【當麻寺 奥院 a-1】奥院御影堂(本堂・重文) 特別拝観：4/11(土)~5/6(水)・(振)

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。(掲載内容は2026年2月現在のものです)



葛城
地図参照P・20
吉野・五條
地図参照P・20

MAP **c-2**

さくらもとぼう **桜** 4月上旬～下旬

櫻本坊

しゃかじょらいごぞう **釈迦如来坐像** **重文**

3/28(土)～4/8(水)

天武天皇が桜の吉夢を見て創建した天武・持統天皇の勅願寺。神仏習合の修験道場としても知られている古刹で、白鳳時代の天武天皇ご念持仏である釈迦如来坐像(重文)が特別公開されます。

所 吉野郡吉野町吉野山1269
☎ 0746-32-5011
行 近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
HP <https://sakuramotobou.or.jp/>



釈迦如来坐像(重文)
写真: 榎飛鳥園

MAP **c-2**

きんぶせんじ **桜** 4月上旬～下旬

金峯山寺

にほんさいだい ひぶつほんぞんこんこうごおうだいこんげん とくべつ かいちゅう **日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現 特別ご開帳** **重文**

3/24(木)～5/6(水)・(振)

修験道の根本道場で、その開祖・役行者が感得したと伝わる日本最大秘仏・金剛蔵王大権現三尊(重文)が本尊。吉野山の桜も見頃を迎える時期に国宝仁王門修理勦進のため御開帳されます。像高約7mの青いお姿は必見です。

所 吉野郡吉野町吉野山2498
☎ 0746-32-8371
行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分
HP <https://www.kinpusen.or.jp/>



秘仏金剛蔵王大権現像【中尊】(重文)
写真: 金峯山寺

MAP **a-1**

たいまでら なかのぼう **睡蓮** 5月中旬～9月上旬

當麻寺 中之坊

しゅうりかりようきねん しゅうぞん ぼさつりやうぞう へいあんじだい せきぞうじゅういちめんかんのりやうぞう わるまちじだい **①修理完了記念 焼損菩薩立像(平安時代)石造十一面観音立像(室町時代)**
4/13(月)～7/30(木)

しゅうききかくてん とよとみひでよししゅういんじゅうつしやがま まつ まる せんりのりきやうしよじやう **②秋季企画展 豊臣秀吉朱印状写、茶釜「松の丸」、千利休書状ほか**
9/10(木)～11/30(月)

みちび かのん へいあん じだい じゅうよう びじゅうひん **③導き観音(平安時代・重要美術品)**
毎月16日 13時30分～15時 ※祈願会参加者のみ

脚部が破損して立つことができずに伝わっていた菩薩像が修復により自立してお祀りできるようになった記念として霊宝殿にて一般公開されます。また、初公開となる石造十一面観音像は、十一面観音の石仏としては最古のものとみられています。秋季企画展では豊臣秀吉が愛した側室京極電子(松の丸殿)の面影を写したとされる茶釜や千利休書状などを特別公開。毎月16日に拝観可能な導き観音は中将姫の守り本尊といわれている十一面観音像です。

②導き観音
写真: 榎飛鳥園

①焼損菩薩立像
写真: 當麻寺 中之坊

①石造十一面観音立像
写真: 當麻寺 中之坊

②松の丸釜 蓋(部分)
写真: 當麻寺 中之坊

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2001
行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
HP <https://www.taimadera.org/>

長谷・室生
地図参照P・21

MAP **a-1**

はせでら **桜** 3月中旬～4月中旬 **牡丹** 4月中旬～5月上旬 **あじさい** 5月下旬～7月上旬

長谷寺

こくほう ほんどう とくべつはいかん **①国宝 本堂 特別拝観** **国宝**

じゅうぶん だいこうどう とくべつはいかん **②重文 大講堂 特別拝観** **重文**
※行事により拝観停止の場合あり

しゅんき とくべつ じほうてん **③春季特別寺宝展**
①②③ 3/14(土)～7/5(日)

日本最大級の木造仏、本尊・十一面観世音菩薩立像。普段は尊顔のみの拝観ですが、特別拝観では、お御足に触れてご縁を結んでいたいただけます。

所 桜井市初瀬731-1 ☎ 0744-47-7001
行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分
HP <https://www.hasedera.or.jp/>

①本尊・十一面観世音菩薩立像(重文)
写真: 長谷寺



MAP **a-2**

えいさんじ **山吹** 4月下旬～5月上旬

榮山寺

ほんぞん やくしにょらいごぞう **①本尊・薬師如来坐像** **重文**

はつかくえんどうないないじんそうしよく が とくべつはいかん **②八角円堂内陣装飾画特別拝観** **国宝など**
①② 4/25(土)～5/31(日)

奈良時代に藤原武智麻呂によって創建された古刹。古くから信仰を集める本尊薬師如来坐像(秘仏)と、法隆寺夢殿と並ぶ貴重な天平建築の八角円堂(国宝)を同時に拝観できるのはこの特別開帳期間だけです。

所 五條市小島町503 ☎ 0747-24-5557
行 ●JR五条駅から八木駅(南)行きバス「榮山寺口」下車、徒歩約10分(※バス本数少ない)
●JR五条駅から徒歩約25分またはタクシー約5分
HP <https://www.eisanji.com/>

①本尊・薬師如来坐像(重文)
写真: 榮山寺



MAP **c-1**

ひでなが こおりやま てんらんかい

秀長と郡山のあゆみ展覧会

1/22(木)～2027.1/31(日)

天正13年(1585)、豊臣秀長は郡山城に入り、城郭を豊臣政権による畿内統治の拠点の一つとして整備しました。本覧会では、郡山城とその周辺から出土した資料を通じて、秀長と郡山城、そして地域の歩みを振り返ります。

こおりやまじょうあと ひがしたもんやぐら

会場 **郡山城跡 東多間橋**

所 大和郡山市城内町(史跡郡山城跡内)
☎ 0743-53-1151(大和郡山市まちづくり戦略課)
行 ●近鉄郡山駅から徒歩約10分
●JR郡山駅から徒歩約15分
HP <https://www.hidenaga-yamatokoriyama.jp/yamatokoriyama/>



MAP **d-1**

むろうじ

室生寺

こんどうとくべつはいかん **金堂特別拝観** **国宝など**
3/28(土)～7/5(日) ※期間中拝観された方には特別懐中御守護を授与

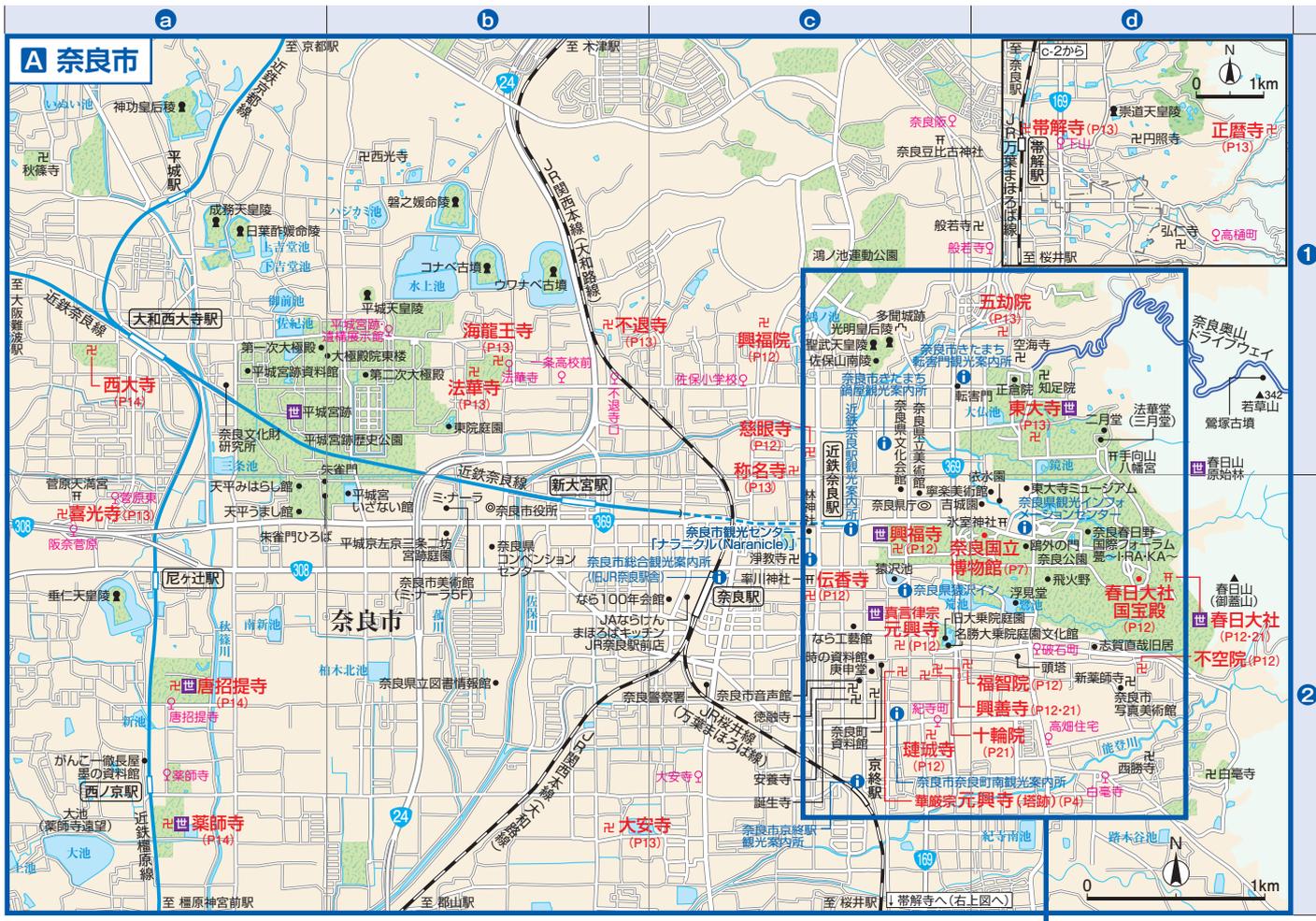
平安初期建立の国宝の金堂。通常拝観では立ち入ることのできない外陣にお入りいただきいつもより近い距離で国宝釈迦如来立像、重文薬師如来像、文珠菩薩像、十二神将をご拝観していただけます。特別拝観をされた方はスマートフォン限定で堂内の撮影が可能です。特別拝観後は金堂屋根の葺き替え工事があります(2028年3月までの予定)。

所 宇陀市室生78 ☎ 0745-93-2003
行 近鉄室生口大野駅から室生寺行きバス終下車、徒歩約5分
HP <https://www.murouji.or.jp/>

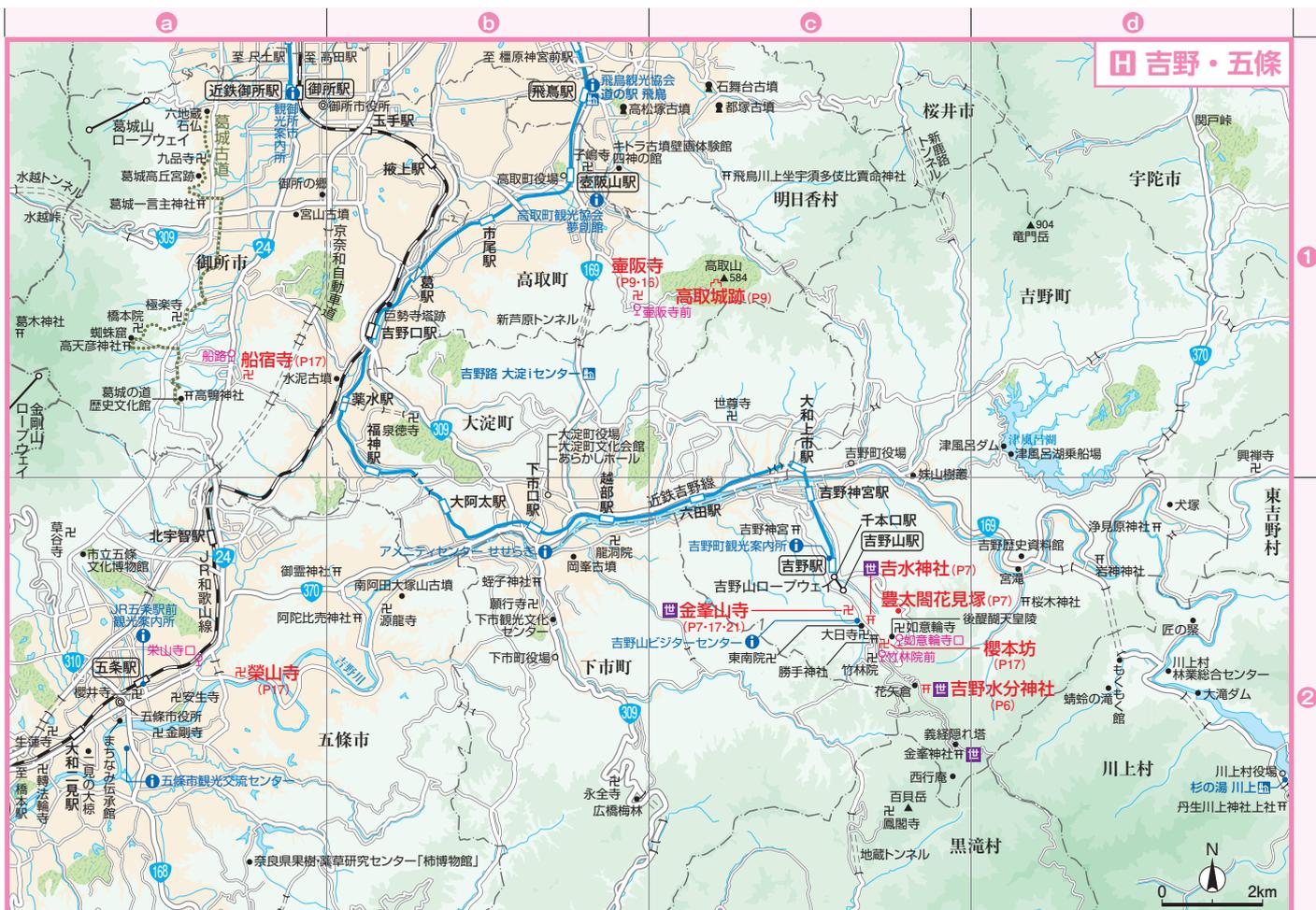
金堂(国宝)
写真: 室生寺

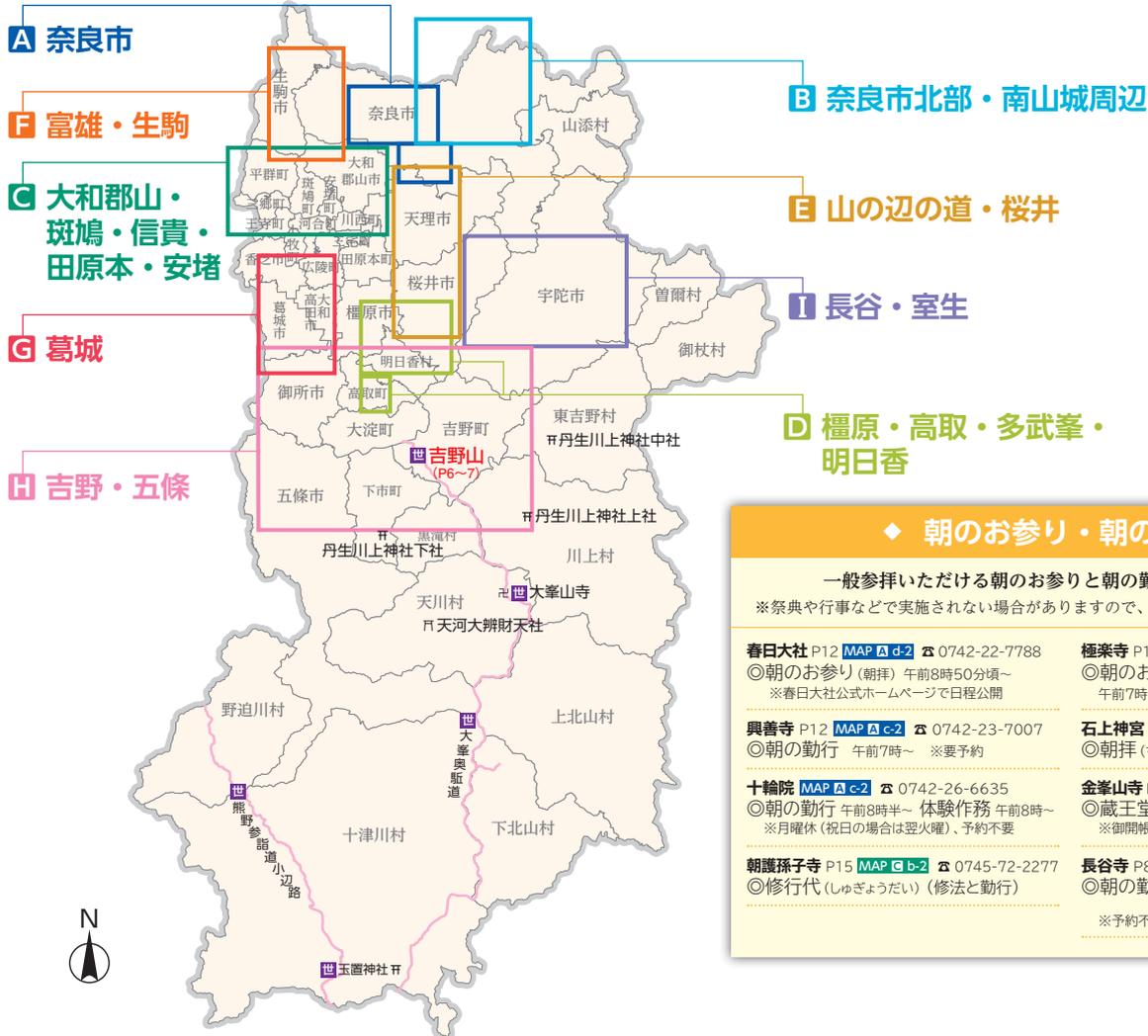
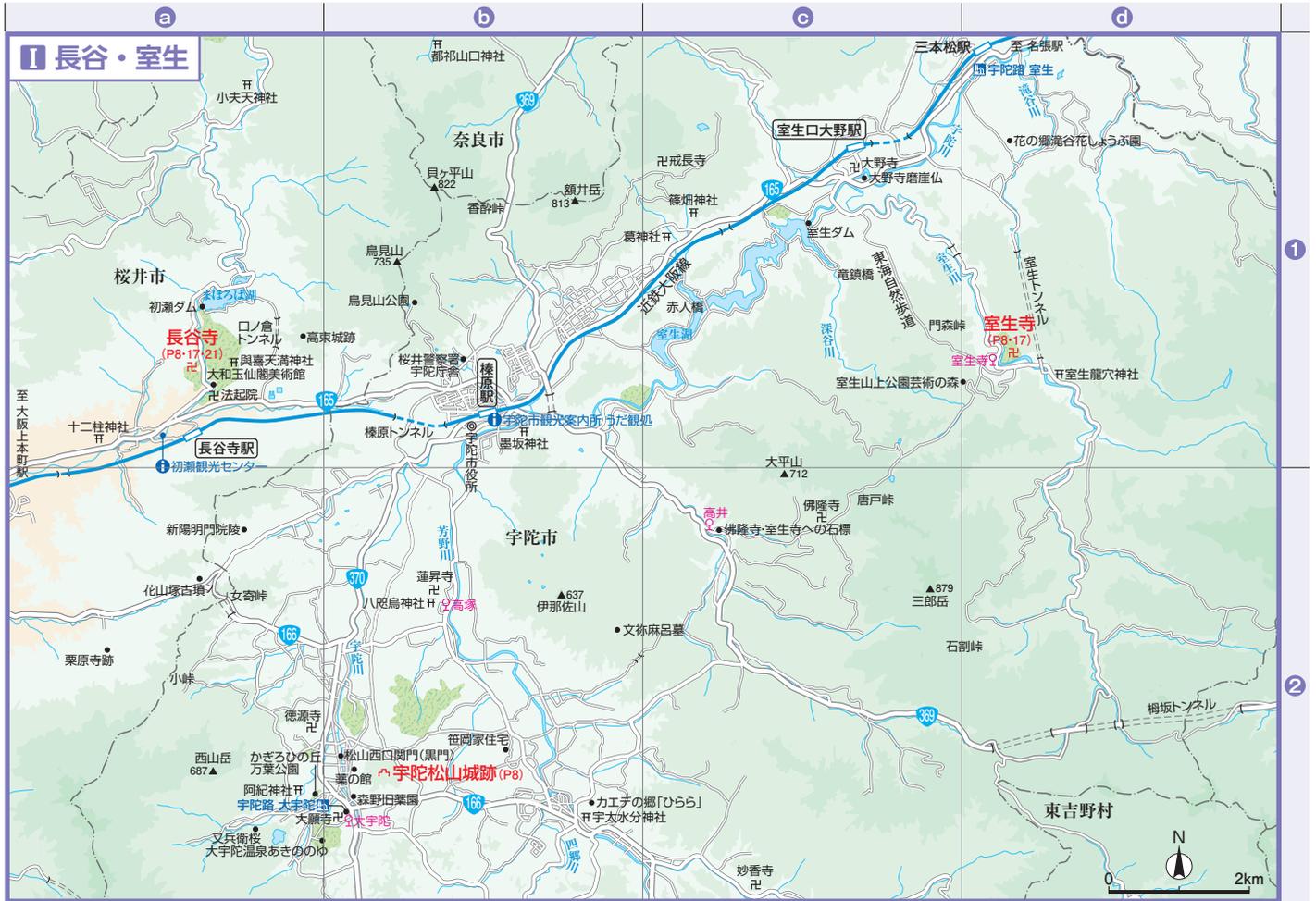


【船宿寺 **a-1**】本尊薬師瑠璃光如来坐像: 4/25(土) ※花法会(毎年4月第4土曜日)
※吉野山の観桜期臨時バスについては、奈良交通ホームページ(<https://www.narakotsu.co.jp/>)にてご確認ください。









◆ 朝のお参り・朝の勤行 ◆

一般参拝いただける朝のお参りと朝の勤行をご紹介します。
※祭典や行事などで実施されない場合がありますので、事前に各社寺にお問合せ下さい。

<p>春日大社 P12 MAP A c-2 ☎ 0742-22-7788 ◎朝のお参り(朝拜) 午前8時50分頃～ ※春日大社公式ホームページで日程公開</p> <p>興善寺 P12 MAP A c-2 ☎ 0742-23-7007 ◎朝の勤行 午前7時～ ※要予約</p> <p>十輪院 MAP A c-2 ☎ 0742-26-6635 ◎朝の勤行 午前8時半～ 体験作務 午前8時～ ※月曜休(祝日の場合は翌火曜)、予約不要</p> <p>朝護孫子寺 P15 MAP c b-2 ☎ 0745-72-2277 ◎修行代(しゅぎょうだい)(修法と勤行)</p>	<p>極楽寺 P15 MAP C c-2 ☎ 0743-57-2231 ◎朝のお勤め、朝茶の会(法話とお茶) 午前7時～8時 ※要予約</p> <p>石上神宮 MAP E a-1 ☎ 0743-62-0900 ◎朝拜(ちようはい) 午前8時半～</p> <p>金峯山寺 P7・17 MAP H c-2 ☎ 0746-32-8371 ◎蔵王堂 朝座勤行(あさごんぎょう) ※御開帳期間のみ有料</p> <p>長谷寺 P8・17 MAP I a-1 ☎ 0744-47-7001 ◎朝の勤行 4月～9月 午前6時半～ 10月～3月 午前7時～ ※予約不要</p>
---	---

エリア	社寺名	掲載頁/地図	主な特別開帳内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
A 奈良市	興福寺	P12 A c-2	三重塔特別公開(国宝など)					7/7 ※弁才天供(10時～)		
	春日大社 国宝殿	P12 A d-2	春日大社 競馬図屏風と馬の美術(仮題)(重文など) 同時開催 豊臣兄弟と春日大社(仮題)			4/25~7/12		※5/11(月)、6/15(月)休館		
	福智院	P12 A c-2	宝冠十一面観音菩薩立像	3/17~3/23						
	不空院	P12 A d-2	本尊・不空羂索観音菩薩坐像と秘仏・宇賀弁財天(重文など)			4/25~5/10				
	元興寺	P12 A c-2	軸装智光曼荼羅(県指定文化財)	3/17~3/23					9/20~9/26	
	興福院	P12 A c-1	静寂に包まれた豊匠秀長ゆかりの尼寺 一重文阿彌陀三尊像・客殿特別公開と達州流茶席(重文など)	6/5~6/7、6/19~6/21						
	璉城寺	P12 A c-2	阿彌陀如来立像など(重文など)					5/1~5/31 ※5/11(月)、18(月)、25(月)休み		
	慈眼寺	P12 A c-1	聖観世音菩薩	3/9 ※二の午大法要						
	伝香寺	P12 A c-2	地藏菩薩立像(重文)など	3/12 ※本堂特別公開		7/23 ※地藏菩薩更衣法要				
	興善寺	P12 A c-2	観経曼陀羅群像	3/17~3/23 ※要予約					9/20~9/26 ※要予約	
	大安寺	P13 A b-2	秘仏・馬頭観音菩薩立像(重文)	3/1~3/31						
	五劫院	P13 A d-1	五劫思惟阿彌陀仏坐像(重文)					8/1~8/10		
	不退寺	P13 A b-1	在原業平朝臣画像、寺宝展				3/1~5/31	※5/28(日)のみ多宝塔特別公開(業平忌)		
	帯解寺	P13 A d-1	秘仏・秘宝特別公開(重文など)	3/3~3/12						
	海龍王寺	P13 A b-1	十一面観音菩薩立像、寺宝展(重文など)			3/23~4/7、5/1~5/9				
	正暦寺	P13 A d-1	春季特別公開(重文など)			4/18~5/8				
	法華寺	P13 A b-1	①十一面観音菩薩立像(国宝) ②国史跡 名勝庭園	3/20~4/7			6/5~6/14			
	喜光寺	P13 A a-2	弁天堂神影 宇賀神(秘仏) 特別開扉			6/18~8/16				
	東大寺	P13 A d-1	重源上人坐像(国宝)など《俊乗堂》	7/5 ※俊乗忌 ※法要終了後に特別開扉						
	称名寺	P13 A c-1	獨慮庵、本尊・阿彌陀如来坐像(重文)、釈迦如来坐像(重文)				5/15 10時~15時 ※珠光忌			
B 奈良市 北部・ 南山城 周辺	薬師寺	P14 A a-2	①三大壁画特別公開 ②国宝東塔・西塔特別開扉(国宝など)	4/25~5/10						
	西大寺	P14 A a-1	聚宝館特別公開(国宝など)	4/25~5/10						
	唐招提寺	P14 A a-2	①寛盛上人坐像(重文)など				5/19 ※中興忌梵網会(うちわまき)			
		P14 A a-2	②鑑真和上坐像(国宝)				6/5~6/7 ※開山忌舍利会			
P14 A a-2		③地藏菩薩立像(重文)など				8/23・8/24 ※地藏盆				
東鳴川観音講(応魂寺)	P14 B a-2	不空羂索観音菩薩坐像(重文)	毎月第一日曜日							
岩船寺	P14 B a-2	①秘仏・如意輪観音菩薩、秘仏・弁財天、秘仏・羅刹天 ②三重塔初層特別開扉(重文) ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり			4/25~5/6			4/1~5/31		
	浄瑠璃寺	P14 B a-2	①秘仏・吉祥天女立像(重文) ②三重塔初層開扉(国宝)・薬師如来坐像(重文) ※ただし好天の日に限る	3/20 毎月8日			3/21~5/20			9/23
		現光寺	P14 B a-1	本尊・十一面観音坐像(重文)			5/3~5/5			
海住山寺	P14 B a-1	春の寺宝特別公開(重文など)			4/25~5/6					
C 大和郡山 斑鳩 信貴 田原本 安堵	矢田寺	P15 C c-1	地藏菩薩立像、閻魔堂(重文など)					6/1~6/30		
	松尾寺	P15 C c-1	①日本唯一の舎人親王(日本書紀編纂)像 ②修験道まつり(役行者像等公開)			3/20~12/20			9/1~9/13	
		法隆寺	P15 C c-1	夢殿本尊救世観音像特別開扉(国宝)			4/11~5/18			
	東明寺	P15 C c-1	薬師瑠璃光如来坐像など(重文など)			7/1~7/12		6/1~6/15		
	朝護孫子寺	P15 C b-2	秘仏・毘沙門天王像							
	安養寺	P15 C d-2	阿彌陀如来立像(重文)	3/14~3/22					9/19~9/27	
	極楽寺	P15 C c-2	広島大仏・特別御開帳					8/1~8/15		
	法輪寺	P15 C c-1	妙見菩薩立像など		4/15 ※妙見会式					
D 橿原 高取 多武峯 明日香	正蓮寺 大日堂	P15 D a-1	①大日如来坐像特別公開(重文) ②猫入り涅槃図特別公開						9/20~9/23	
	おふさ観音	P16 D a-1	①本尊・十一面観音菩薩立像 ②秘宝・生き人形、寺宝公開		4/17・4/18				5/15~9/30	
		壺阪寺 (南法華寺)	P16 D a-2	①大難曼荼羅 ②二大塔同時開扉 ③壺阪観音お身拭い特別参拝		2/28~4/18			4/25~7/5	
	橘寺		P16 D a-2	聖倉殿(収蔵庫) 特別公開(重文など)			4/18~5/6			
	談山神社		P16 D b-2	談峯如意輪観音菩薩坐像				6/1~7/31		
岡寺	P16 D b-2	本堂内々陣お屏特別開扉(重文)			3/28~7/5					
E 山の辺の道・桜井	安信文殊院	P16 E a-2	①金閣浮御堂霊宝館 春夏の寺宝展(国宝など) ②秘仏・十二天		春:3/1~5/31 夏:6/1~8/31		4/25~5/6			
	F 富雄・生駒	寛山寺	P16 F a-2	獅子閣(重文)	5/3~5/5					9/21~9/23
霊山寺		P16 F b-2	薬師三尊像(重文)			5/17 ※善哉会式えと祭り				
G 葛城	石光寺	P16 G a-1	日本最古の石仏開帳			4/14~5/14				
	當麻寺	P16 G a-1	裏板曼荼羅、板光背など《曼荼羅堂》		4/13~4/15					
	當麻寺 奥院	P16 G a-1	奥院御影堂(本堂・重文) 特別拝観			4/11~5/6				
	當麻寺 中之坊	P17 G a-1	①修理完了記念 焼損菩薩立像(平安時代) 石造十一面観音立像(室町時代) ②秋季企画展 豊臣秀吉朱印状写、茶釜「松の丸」、千利休書状ほか ③導き観音(平安時代・重要美術品)			4/13~7/30			9/10~11/30	
H 吉野 五條	櫻本坊	P17 H c-2	釈迦如来坐像(重文)		3/28~4/8					
	金峯山寺	P17 H c-2	日本最大 秘仏本尊金剛藏王大権現 特別公開(重文)			3/24~5/6				
	榮山寺	P17 H a-2	①本尊・薬師如来坐像(重文) ②八角円堂内陣装飾画特別拝観(国宝など)				4/25~5/31			
I 長谷・室生	船宿寺	P17 H a-1	本尊薬師瑠璃光如来坐像			4/25 ※花法会(毎年4月第4土曜日)				
	長谷寺	P17 I a-1	①国宝 本堂 特別拝観(国宝) ②重文 大講堂 特別拝観(重文) ※行事により拝観停止の場合あり ③春季特別寺宝展					3/14~7/5		3/14~7/5
		室生寺	P17 I d-1	金堂特別拝観(国宝など) ※期間中拝観された方には特別懐中御守護を授与					3/14~7/5	



祈りの回廊オリジナルポイントラリーWEBアプリ

スマホで巡礼

2026年3月1日～9月30日

祈りの回廊
特集ページ特別企画
ダブル
ポイントアップ
キャンペーン

「スマホで巡礼」は、本誌で紹介している神社仏閣への参拝や、観光スポットへの観光の記録を残すアプリです。1スポットにつき**10pt**が貯まります。

上記期間は**150pt**で1回のプレゼント応募(ハンディファン)ができます!

ポイントアップ 1 特集ページ紹介スポットがポイントアップ

2026年春夏版は、特集ページに連動した特別キャンペーンとして、上記期間「国づくりの“現場”を歩く—飛鳥・藤原(P2~5)」、「秀吉、吉野で花見をする(P6~7)」、「巡る 拝する 奈良旅の証(P8~9)」のみ、特別に1スポットにつき**30pt**が貯まります。

ポイントアップ 2 東京「奈良まほろば館」でボーナスポイント

上記期間中、東京「奈良まほろば館」を訪れて「スマホで巡礼」アプリでチェックインすると、その場で**30pt**が貯まります。その後同じアカウントで奈良県内のスポットにチェックインし、ポイントを取得すると、ボーナスポイントとしてさらに**70pt**、合計**100pt**が貯まります。



※奈良県内でのチェックインの際は、ポイント取得済スポットではなく、新たにポイントが取得できるスポットでのチェックインをお願いします。チェックインの際は、そのスポットで得られるポイントと、ボーナスポイント70ptを合計して取得することが出来ます。詳しくはアプリの「アプリについて」ページをご確認ください。



150pt 貯めて応募すると
抽選でオリジナル
ハンディファンを
プレゼント!

※写真はイメージです

※対象スポット詳細はアプリ画面でご確認ください。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。発送は10月下旬を予定しています。

DL不要 WEBアプリのご利用方法

関連イベント

3月18日(水)東京「奈良まほろば館」2階イベントルームAにて、奈良の最新春夏観光情報特別講座を開催します。詳しくはコチラ→



ここから起動



起動後はブックマークに登録するか、ホーム画面に保存してご利用ください!

新規登録の流れ

アプリを起動する

左のQRコードから起動し「新規登録」をタップ!

ログインIDを登録

任意のメールアドレスとパスワードを設定します。自動送信メールが届きます。

メールで本人確認

メールの本人確認URLをタップして完了。もう一度起動画面からログインして利用開始!

※自動送信メールを迷惑メールと認識する設定がされている場合、本人確認メールが迷惑メールと判断される場合があります。メールが届かない場合は、迷惑メールをご確認ください。

【このアプリは位置情報(GPS)機能を利用します。必ず位置情報取得機能をONにしてください】

周囲の環境や通信状況、端末の性能によって、動作が不安定または不可能な場合があります。また、登録社寺の立地によってはGPS電波が届かず、チェックインできない(アプリが起動しない)場合があります。電波が届かない社寺については、各社寺の案内画面に明記しておりますので、社寺で配布しているプリントをお受け取りいただき、電波が届く場所でアプリを起動し、「チェックインする」をタップして、プリントのマーカー一部にかざしていただくことでチェックインできます。本アプリケーションのご利用に際しては、周囲の状況に注意し、お客様が利用される地域に適用する法律・慣習を遵守した常識的で適正なご利用をお願い致します。本アプリケーションの使用に關しましてお客様自身または第三者に損害が生じた場合、奈良県はその賠償の責任を一切負いかねますことをご了承ください。 ※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。推奨環境・iPhone iOS + Safari(ブラウザ)・Android OS + Chrome(ブラウザ)それぞれ最新バージョンでのご利用をお願いします。

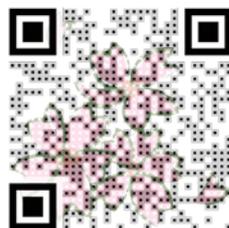


『祈りの回廊』読者プレゼント!!

応募期間 2026年3月1日～2026年9月30日まで
皆様のご感想・ご意見を今後の参考にさせていただくために本誌アンケートへのご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で「祈りの回廊 オリジナルメモ帳」をプレゼント!!

【動作条件】●ご利用端末に応じて以下のブラウザでアクセスください。【iOS (iPhone iPad)=Safari】【Android=Chrome】●リーダーアプリをご利用の場合はアプリ内ブラウザを選択せず、上記ブラウザをご利用ください。●上記ブラウザを使用しても正常に動作しない場合は、『シークレットモード/プライベートモードを解除』『cookieとJava scriptをオン』の状態でごアクセスいただきますようお願いいたします。

アンケートはこちら



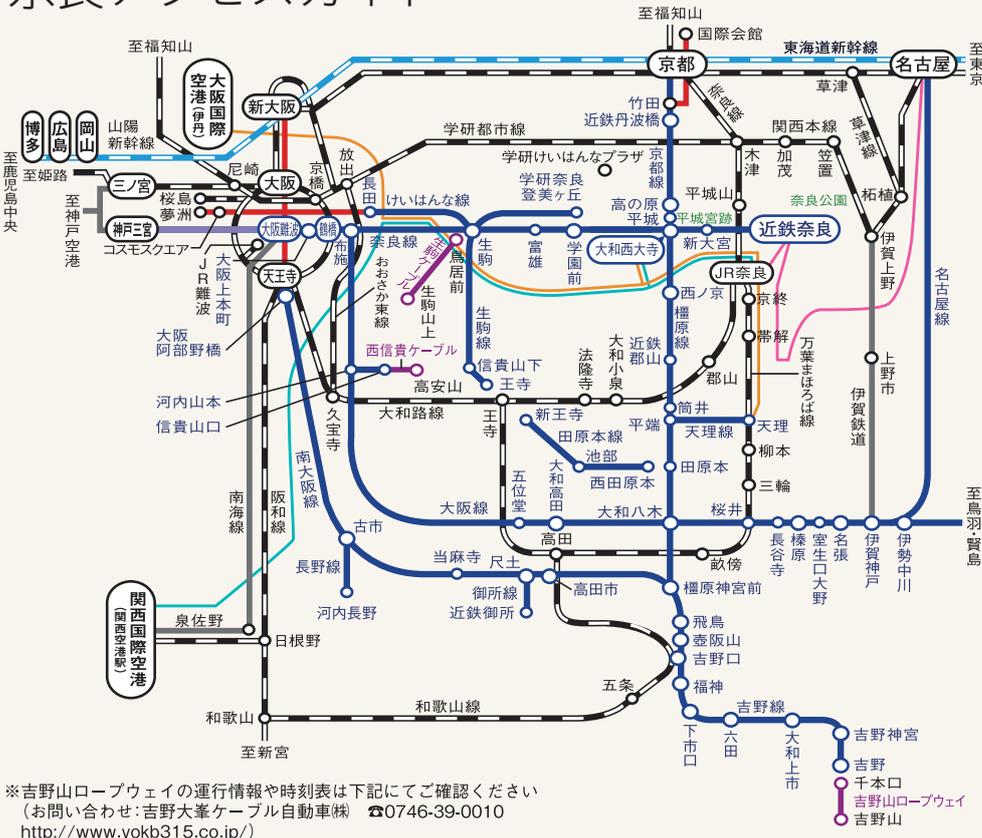
抽選で 祈りの回廊
オリジナルメモ帳
プレゼント!!



https://qlear.cloud/kspkk/inori_26harunatsu_02

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

奈良アクセスガイド



交通のお問い合わせ

JR 西日本お客様センター

☎ 0570-00-2486

近鉄電車テレフォンセンター

☎ 050-3536-3957

奈良交通お客様サービスセンター

☎ 0742-20-3100

奈良交通総合予約センター

(高速・リムジンバス等)

☎ 0742-22-5110

※吉野山ロープウェイの運行情報や時刻表は下記にてご確認ください
(お問い合わせ:吉野犬峯ケーブル自動車線) ☎0746-39-0010
<http://www.yokb315.co.jp/>

● JR 西日本

● 近鉄のおトクな情報



※大和路秀麗※ 八十八面観音霊場の法話会

大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会は法華寺・西大寺・海龍王寺・大安寺・法輪寺・聖林寺・長谷寺・室生寺の八か寺の十一面観音菩薩を巡拝する霊場会です。令和8年春の法話会を右記のとおり開催します。法話会にご参加いただき、十一面観音菩薩の慈悲の心を感じてください。(事前申込制、有料)

日 時: 令和8年5月18日(月)午後2時より(受付は午後1時30分より)
講 師: 奈良国立博物館名誉館員、東アジア仏教文化研究所代表 西山厚先生
場 所: 海龍王寺
参加費: 2,500円(入山料含む)
定 員: 40名(先着順)
申込方法: 往復はがきに①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④申込人数を明記の上、5月11日(月)までに次の宛先までお申し込みください。
 宛先: 〒630-8001奈良市法華寺町897
 海龍王寺「大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会」係宛
 ※復路(返信はがき)にご自身の住所・宛名を記入漏れのないようお書きください。当選のお知らせは返信はがきにていたします。
 申込人数は、はがき1枚につき2人までとなります。
 お申し込みは**往復はがきのみ**とさせていただきます。

祈りの回廊 <http://inori.nara-kankou.or.jp/> 奈良県観光[公式サイト]あをによし [なら旅ネット https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/](https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/)

奈良県観光局 観光力創造課 〒630-8501 奈良市登大路町30番地 TEL:0742-27-8482 FAX:0742-27-3510

※当該掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。 ※本記載内容は2026年2月現在のものであり、内容が変更となる場合があります。